

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－92）MOX燃料加工施設（1－85）」

2. 日時：令和3年12月13日（月） 13時30分～16時15分

3. 場所：原子力規制庁 8階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、中川上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、清水係員

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員 燃料製造副事業部長 他16名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

四国電力株式会社 原子力部 燃料技術グループ 担当

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 副課長

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認申請に係る対応状況」

参考

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更

の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 3 年 12 月 10 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	横浜開始しました。
0:00:03	規制庁会議室シミズです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリング或いは2年12月24日に申請があった設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:19	ひとまずは規制庁側の出席者を紹介しますと、規制庁回復からナカガワタジリ、キシノオオハシ、それがね、ハバサキ。
0:00:32	あとウェブから
0:00:34	はい。
0:00:37	自分の
0:00:38	あとシミズです。あとはWEBからとコサクカミデ
0:00:46	カワラサキを加フジワラタケダ以上になりますのでや日本原燃の方からの出席者の紹介と議題の構成の説明をお願いします。
0:00:59	はい。日本原燃、
0:01:01	それでは日本原燃側の保管場所ですね、本日今画面共有させていただきます。グループ1ですね、設工認申請に係る対応状況とグループに飛来物防護ネットの架構杭の設計について説明することを考えております。
0:01:15	3ヶ所ですが、まずグループ1側のほうですが、事務局としてストウから再処理のほうからムラノナガサワ、タカハシaナカハマフジノ田中シミズMOXのほうからタカマツタニグチ以上のグループ1対応者となっております。
0:01:33	グループ2のほうでメンバーの追加になりまして、フナコシサトウ、トガシイナツマ、カミタイラスギタ体、大成建設さんからタカハシ様、石黒様、渡辺様、堀田様。
0:01:48	以上の本日の300A社となっております。
0:01:52	よろしければですね、まずグループ域の設工認申請に係る対応状況ということで、審査会合向けの資料アポイントのほうの説明に入りたいと思います。
0:02:02	はい。
0:02:04	日本原燃長沢でございます。そうしましたら、ご覧の資料で御説明いたします。共通関係全般事項といたしまして先回の審査会合でも言及しております。しばらく時間がたっておるということでございましてちまえ資料準備をいたしました。
0:02:22	内容でございますけれども、4ページでございまして、
0:02:29	はい。まず1番目にはですねこれまでの経緯ということで、取られて資料1次ストップさせていただき立ちどまるといったことをやらせていただいて改善検討してきたというようなこと1ポツ目に書いてございます。それから

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	2 ポツ目はですね、解決策ということで示してございまして、3 ポツ目はですね等を先回の審査会合以降、立ちどまった後も含めまして、ヒアリングをやっていただいているということで、
0:03:02	基本設計方針成果申請対象設備の確定というところでやっているところということをやっぱり求めはですね、MOXをですね先行して今後準備させていただいて、最初はこれに共有していくというような形で作業を進めていきたいと。
0:03:18	ということでまとめてございまして。簡単ですが、以上でございまして。
0:03:26	設置はシミズですと、どうしてもありがとうございます規制庁側から確認がありましたらお願いします。
0:03:35	規制庁ナカガワですよ。
0:03:38	ナカガワです。
0:03:41	まずですね、ちょっと2、2 行目の明確化に資する資料の事実確認を踏まえてという意味がちょっとよくわからなかったんですけど。
0:03:52	で、1 パラ名自体がですね、何か相当導通にその急に対応力向上を目的とし改善策を検討というふうに出ていって、
0:04:03	そもそもんなんで急にこういう話になるのかってところの
0:04:08	経営はちょっと見えにくいのかなあと考えていてですね、
0:04:12	多分端的に言うのであれば水道明確化に関する対応が不十分であったことから提出資料の品質向上等審査何とか改善策を検討ということかなと思ってるんですが、
0:04:27	この1%のこの2 行目についてのお考えをして説明してください。
0:04:34	加力ナガサワでございまして。おっしゃる通りのことをですね事実確認を踏まえてということで集約をしたつもりでございまして。必要があれば今の中止ですね基本的にはコメントに対する横断的な対応と書いてありますけれども、
0:04:51	横断的な対応をコメントへの対応が準備できなかった、それから事実確認において、いわゆる受け答えですね、こういった所対応力が十分でなかったというところ事実確認を踏まえてというフレーズ中に盛り込んだ。
0:05:10	つもりでございまして。はい、医薬です。
0:05:12	はい、規制庁の中村です。趣旨はわかりましたけど多分この言い方ですと、ちょっと明確ではないというふうに思っていますねこの1 ページにまとめるってということもありますので、あんまり細かいことも書けないかと思うんですけども
0:05:28	資料は対応が不十分であったことからということかと思しますのでそういうCでですね少し
0:05:35	中性可能であれば修正していただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:38	はい、いたします。了解しました。
0:05:41	はい規制庁中里私からもう1点ですけど、
0:05:48	三つ目のパラなんですけれど、
0:05:52	コメントに対する横断的な対応保証示すで11月25日というのと、
0:05:57	あとその次に共通方針を説明12月3日というふうになって書いていてですねこれヒアリングの日時を入れていただいたということかと思うんですけど、あんまりあの会合の場でですね
0:06:12	あんまり何かヒアリングをこの日に実施したとかいう、
0:06:16	明示的な記載というのはあんまりないのかなと思っていてですね。で、なおかつ、こちら辺の横断的な対応方針とそれから、
0:06:26	対象施設をひもづける共通を振興これについては確かに一度ヒアリングはしましたけれど、そこで完結というわけではなくてですねこれについては、
0:06:38	引き続きその事例を見ながら必要に応じて修正ということで継続中ということでもあるのかなと。
0:06:47	いうふうに思ってます、
0:06:50	むしろなんか趣旨としてはですね、
0:06:53	一つ目の羽根であれば、対応方針を整理するとともに、条文ごとの何とかを確定していくマーク継続中であるということと、
0:07:04	二つ目もですね。
0:07:06	申請対象施設をひもづける共通方針を整理するとともに代表設備を用いた
0:07:12	市全体説明を確定していくというふうにはすかと思うんですが、そんな感じでしょうか。
0:07:20	行目な制度でございます。おっしゃる通りのニュアンスで書かしていただけてますこれから実施していくというような話でございますので、少しその辺が明確になるように考える修正しますから日付については、あえて
0:07:37	書かないということで修正したいと思います。以上です。
0:07:41	はい、規制庁中ですよっ開始しました。私からは以上です。
0:07:46	。
0:07:48	聞き捨てちゃう会議室シミズですとほか規制庁側から確認事項ありますでしょうか。
0:08:05	規制庁会議室シミズです。こそコサクですすいません。
0:08:10	最後のMOXを先行再処理に展開っていうものを
0:08:17	単純にやることだけを書くのではなくて何か意味合いとかを
0:08:23	言っていたらと思うんですけど。
0:08:28	どんな感じなんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:30	ただ基本的には今共通しているのですね事実確認をやっていただき、その中で、スケジュールと示させていただいておりますけれども、焙焼ボックスから入って行って、それをですね。
0:08:45	最初に展開する、或いはその最初に展開したものでですね最終的に両者添付内容で対応できるかどうかというところの確認も含めて進めていくということになるかと思しますので、
0:09:00	そういった手順で確認を進めていただきたいというような趣旨で書かせていただきました。以上です。コサクですけど手順がそうなることはこれまでも聞いてますけど、審査会合での資料なので、こうやりますって言われてもですね、意味がなくて、
0:09:17	なんでそうやるのかっていうところの思いとか、な税目先行でやるのがいいのかと。
0:09:25	というようなことで、その内容を話をできるようにしていただきたいんですけど。
0:09:31	行目なわけでございます。わかりました。これはこれまでも御説明申し上げているかと思っておりますけれどもMOXのほうですね代表という方がいいかもしれません、これをやってですね、
0:09:46	再処理に展開可能かどうかというようなところを確認することで、作業の効率が図れるかというようなイメージでいいかというふうに思っております。ちょっと今までの経緯も含めて修文したいと思います。以上です。
0:10:14	はい。
0:10:16	規制庁です。すいません。
0:10:21	スケジュール鉄鋼結局出てきてるんですけど。
0:10:29	日本原燃の渚野です。そうですね一部のスケジュールについては先週出させてもらってるんですが全体スケジュールをちょっと今求めておりまして、もう少しで見ていただきたいなというようなところなんです。
0:10:41	コサクですけど、会合までには何らか見えていて、
0:10:47	これを話の中で今後どうなるかっていうのを見て話ができる状態になるんでしょうか。
0:10:56	日本原燃の藤尾です。介護までにはスケジュールの方はお出して今後の見通し含めて少し議論できるようにしたいと考えております。
0:11:06	はい、よろしく申し上げます。
0:11:08	はい。
0:11:09	盛況た事実の市場の話はある会合までに出るのは当たり前で、ちなみにいつぐらいですから何か本当にかいぎんのサイトも良くないと思うんですけども

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	もとスケジュールは今週初めぐらいで示すんじゃないかという話を聞いてはいたつもりだったんですけど、今までどういう条件で設計、
0:11:27	日本原燃の渚野ですはい博多調整中の部分もありますけどあればたまたま持っておりますので、端数ぐらい目めどにですね資料のほう、スケジュールのほうを提出したいと思います。
0:11:37	規制庁田尻です。何で今日ではなかった提出予定ということでそこにはもくそも最初にもデカイヒアリングぐらいでしてきたようにその関係者もわかるような形でスケジュールを示されるということで理解しました。
0:11:56	規制庁中ですけど、ここもだから最後のパラグラフ部長修正はされるという認識でよろしかったでしょうか。
0:12:05	ここに書いてある意味合いを追記するように修正したいと思います。いろいろ審査における長さ等ございます。以上です。
0:12:13	はい、規制庁の仮設了解しました。
0:12:17	消えちゃうかリリース前基本的に正直に言っていただいたほうがいいとは思いますがよ。岩屋今回1回とまるまでは再処理ベースでやってMOXIはその展開するってのが今回系にも複数点やって審査書に展開するっていう話になったりしているんで、
0:12:32	やっぱり間に合う方向からやっても日本がやってるっていう事実だと思うたりもするのでその辺りは別に何か事実をちゃんとして説明できるようにだけしていただければと思ってよろしくお願いします。
0:12:47	日本原燃長瀬でございますけれどもはい、廃止をいたしました。
0:12:53	以上です。
0:12:56	規制庁会議室シミズです。土木／規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
0:13:11	ではないんですよでしたら共通事項のない
0:13:15	設置はシミズですと1点確認なんですが、どうも本日出していただいた会合資料ちょっと修正されるということですが、いつごろ修正万Lなどをちょっと今後のスケジュールをお願いします。
0:13:30	はい。読めなかったとございます。社内確認ございますので明後日ぐらいに提出できるようにしたいというふうに思います。以上です。
0:13:39	じょうシミズです。了解しました。
0:13:41	それでは共通の内容について終了したいと思います。当面の耐震がメンバーも規制庁がそのレイヤますので、ちょっともしあの原燃が準備できているようだ。ですからこのまま引き続き、
0:13:57	ヒアリンググループに入りたいと思いますが、問題ないでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:03	日本原燃の藤野です。日本原燃側も、グループ 2 のメンバーそろってますので、資料の方変えてグループ 2 の説明に入りたいと思います。
0:14:12	はい。
0:14:13	規制庁シミズですと承知しました。
0:14:20	それではグループ 2 のヒアリングに入りたいと思いますので、
0:14:25	原燃側から資料の説明をお願いします。
0:14:32	はい。
0:14:34	日本管財イナヅマですと本日提出して 10 日に提出しました、その設計についてというものについてちょっと補足的なところについて説明させていただきます。続きです。すみません。よろしいですか。ございません。
0:14:50	三山使うグループに入る前にちょっと進め方について最初確認しておきたいんですけれど。
0:14:58	いつものけば良いなんですけれども、まずこの左上の達成目標と説明範囲っていうのをまず説明いただいてもよろしいでしょうか。
0:15:11	評価イナヅマでした。はい。本日のヒアリングにおきましては、まず
0:15:16	4 ページ開きますとおり、加工の杭の設計の評価っていうのはどのようなものかというところについて御説明者の中に、本日愛護 2 で説明する範囲でその内容について認識規制庁さんとの認識合わせをお願いしたいということを考えてございます。以上です。
0:15:37	はい、規制庁の武田です。ありがとうございます。
0:15:40	ですね、午前中に事務局のほうに連絡をさせていただきまして、名この行為の設計だけじゃないですねあの飛来物防護ネットの波及的影響評価における
0:15:55	前回の基本の事故みたいなのを示して欲しいということで、不良で結構ですの で示して欲しいということで依頼させていただいたんですけれどもそれをまず 説明いただきたいんですけれどよろしいですか。
0:16:12	日本語になってくる可能性が文書の形でちょっと用意できなかったもので、今用意してございますが、審査会合資料の構成案の方で全体設計っていうのが、 刀禰になっていてそのうちの設計に該当するところをちょっと御説明したい と考えてございますが、そちらの方でよろしいでしょうか。
0:16:35	規制庁の武田です。わかりましたそれで結構です。
0:16:39	はい。それは画面のほう、すみません、審査会合の資料の構成案ということで 御用意しているもののうち、少々お待ちください。
0:16:48	時で、
0:16:52	23 ページします。
0:17:04	日本原燃イナヅマで現在給付の方で

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:10	4Pネット箱というものをやっぱ設定という全体像としては、下表のこちらのフローに示しているところで1番目に当地震応答解析からいろいろ検討を行った上で、
0:17:25	各部材の検討を行うと一番下のほうにですね、例えば頂部加工ですとか、基本設計、杭の設計というものがアウトプットとして出てくると、その上で、波及的影響評価を行うというか確認するということを考えてございます。
0:17:40	この中で特にの設計につきましては桃色ピンクの部分で囲っているところですね、こちらの方がちょっとこれまでヒアリング等で御説明して参りました。杭の設計の全体安全対策の部分でございまして、
0:17:56	その中で、黄色いところですねと解析計算と書いてあるところの上の地震応答解析から30フレーム解析等を行うということもございます。
0:18:06	ですのでこれまでと説明した国の設計というところが等の予備ネット加工というところを説明する中で本当全体像を示しているということを考えてございます。その中で今回杭の設計の部分につきましてプラン上がってくれ積極載ってるのかと。
0:18:24	御説明が
0:18:27	説明できればですね、その他の譲渡加工の設計ですとか、杭の設計っていうのは、同じような検討を行っている中のアウトプットがちょっと変わっ違うもの、それを別途インプットとして、各中学校の設計、また、
0:18:43	基礎区域SaaS基礎梁の設計をやっているということが説明できるということと考えてございまして、それをもって、予備ネット全体の設計、また、波及的影響評価というのができるということを考えていると。
0:18:59	そういったロジックで審査員介護の市にはこの
0:19:04	別をネットのあけてKK評価という全体像を示したものを御説明したいということを考えていくと、そういったところでございます。以上です。
0:19:29	規制庁の武田です。はい、堀後藤でございます。
0:19:35	ですね、今
0:19:40	これまで説明を受けている内容っていうのは設計モデルの妥当性の確認をする。
0:19:48	確認をするための方法の確立だと思うんですけど。
0:19:53	これって言うのか、このフローではどう工認該当するんでしょうか。
0:20:03	日本原電イナヅマこのプロで言いますと、一番上ですね、地震応答解析、この有効応力解析ですとかで応力解析、これをどのようなモデルにする。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:14	戻って実施するのかというところを今回は設計モデルを用いて評価するということを説明しているの、一番冒頭ですね潮流の部分について、各考え方について御説明したとしているというところで認識してございます。以上です。
0:20:40	規制庁の武田です。はい。このフローでっていうのが現在どこに該当しているということは理解しました。
0:20:49	規制庁側からそういう確認ございますでしょうか。
0:20:56	規制庁ツガネですけれども、
0:20:59	ちょっと事務局通じてお願いしたのが、
0:21:05	今回
0:21:06	防護ネット等について、
0:21:09	どういことをやっているのわかるようなロジック示して欲しいということをお願いしたんですけれども、そもそも、まずその防護ネット目的は、冷却塔へ影響を与えないように、Wet作るんですけれども、その分をネットな波及的影響及ぼさないような設計をするんだと。
0:21:27	というのが最初に目的としてあると。で、その目的を達成するために、
0:21:33	飛来物防護ネットについて、どんな部材があって、どんな交付構成になってるか。
0:21:40	それぞれの部材について設計がなされるんだろうけれども、その中で、まずは、杭を一つ例にとりて、
0:21:49	説明して欲しいということをお願いしましたので、今ですね、今日、
0:21:54	出していた費用も
0:21:57	杭の設計に至るまでは国の責任取るというか、まず大前提が全然示されていなくていきなりくい立脚点波及
0:22:07	行き渡らない設計モデルを構築するって、
0:22:10	なっちゃってるんですね、デフモデル構築する前にまず設計として何をすべきかっていうところをきちっと整理してもらって、
0:22:17	順番に組み立てていくと設計モデルっていうのは、解析の話なんでおそらく一番最後になるんじゃないかと思ってるんですね。
0:22:27	最初にまずは冷水防護ネット設計します。
0:22:31	それぞれの
0:22:33	部材はこういうふうになって、全体構成されています。それぞれの部材について設計を行います設計を行うだったかってはどのような方針で設計するかでその設計を実現させるためには何をどうすればいいかで何をどうすればいいか。
0:22:49	行うために具体的な
0:22:51	ここは何かそれが解析のやり方であるのか議論しなかった。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	そういう流れがあると思ったんですけどもそういう説明はできないということなんでしょうか。
0:23:18	日本原燃佐藤です。
0:23:19	すみません、18 ページ、ちょっと見ていただきたいんですが、
0:23:25	あ、すみません、16 ページでした。
0:23:30	こちらは
0:23:34	地震が起きた際の建物野菜をするECがどういうものがあって、
0:23:42	例えば、
0:23:44	1 番目だけ説明しますが、地盤剛性が地震によって低下すると眺望応答が増大し、それによって今回設計対象となるフレームですとかブレースこういったものが
0:24:02	に発生する。
0:24:03	に応力が生じてですね、変形破綻すると。
0:24:07	それが冷却塔をどういう影響を与えるかといったところ、／この表を使って整理しております。
0:24:17	ということで波及的影響がどういう原因で起こって、どういう部材が影響を受けて、結果して、はっきり的影響及ぶといったところの整理は 16 ページ注 7 ページですかね。
0:24:37	の方に整理させていただいております。
0:24:42	で、あわせてですね 18 ページをちょっとご覧いただきたいんですが、
0:24:49	こちら、
0:24:51	については、実際そういった地震時の地震荷重と呼ばれる印紙これが採用した際に、具体的にどういう部材が壊れていくのかといったところを、
0:25:06	流れで示しております。
0:25:11	2 列目が杭基礎の損傷状態が整理されていてその次に防護ネット加工の損傷状態で、これらがウェイあそこに関わって冷却塔へ波及的影響を及ぼす及ぼ及ぶことになるんです。
0:25:30	いうことを整理した上で最終的に 19 ページ。
0:25:39	今回の設計で着目しなければいけない。構造部材とかいったものは何かといったところをここで整理させていただいた上で、それらがどういった損傷状態にあってどういった確認をとれば、波及的影響の評価ができる。
0:25:58	ところ、ここで一連でまとめさせていただいております。そういう意味では大きなロジックの中でっていうのは、16 ページから始まって 19 ページまでで整理しているつもりでございます。以上です。
0:26:16	規制庁津金です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:19	今おっしゃったことをカミデ起こすと同じ3ページも取らずに、1ページ以降行ぐらいで終わっちゃうんじゃないかと思うんですけども、それってつくれないんですか。
0:26:36	年度現年サトウです。はい。そういう意味では、言葉、
0:26:43	そうですね数量にして
0:26:46	表すようにちょっと準備させていただきたいと思います。
0:26:53	以上です。もうちょっとですね、順番に説明して欲しいんですけども、まずはその飛来物防護ネットを設計するんだと目的は当然冷却塔を守るためなんですけども、設計にあたっては、飛来物防護ネットが波及的影響冷却塔にもたせるもたらさないようにするんだ。
0:27:12	これまで目的だと思います。
0:27:15	飛来物防護ネットっていうのはどういった部分で作られているかっていうのがあって、
0:27:20	それぞれについて設計なされると。
0:27:23	ここまではやってますか。
0:27:28	日本原燃佐藤です。はい、合っております。
0:27:31	はい規制庁津金です。その上で、それぞれの部材について、設計の具体的な内容を確認する。まずは杭について確認するというので、杭の設計っていうのは一体どのようにされてるのでしょうか。
0:27:48	日本原燃佐藤です。
0:27:50	そういう意味では24ページをちょっと見ていただきたいと思います。
0:27:56	資料ではなくて言葉で説明していただけますか。
0:28:03	杭の設計でございますが、杭自体には地中から作用する荷重と上部架構から反力という形で入ってくるか集がございます。
0:28:18	その両方を合わせた形で最終的に杭の設計の方をいたしております。
0:28:27	その際に、それぞれ発生する、国に作用する力といったものを
0:28:35	解析モデルと呼ばれるものを使って保守的に算定しようというのか我々の設計の目的でございます。以上です。
0:28:48	施設がですね、今の杭の設計にあたっては、上部架構の影響等地盤振動の影響等の行革の値が定格については曲げ以外にも、軸力とかせん断力とかかかると。
0:29:02	そういったものを組み合わせて杭の設計を行っている。
0:29:05	ということでよろしいでしょうか。
0:29:09	日本原燃佐藤です。はい、結構です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:12	規制庁津金です。それぞれ例えば地盤振動の影響を考えると、時関心度に何が杭に対して厳しい設計なのかと考えて考えますし、上部架構の影響が
0:29:26	ここの影響についてなりが厳しいと同格の影響が大きくなるのか、そこは考えるということによろしいですか。
0:29:35	日本原燃佐藤ですはい結構です。
0:29:38	規制庁、津金です。
0:29:40	地盤振動の影響ということであれば、地盤の、例えばこう杭かかる力が強ければつうこと幅員の区域に対する影響が厳しくなると。
0:29:50	ということで、その厳しい力を与えるために、何か考慮しなければいけないだろうという計算において考慮すべき点があるということによろしいでしょうか。
0:30:04	日本原燃佐藤ですはい結構です。
0:30:06	規制庁津金です。その具体的にな。具体的な算定方法において何を考慮すると厳しくなるかということは、リックできるということによろしいですか。
0:30:19	日本原電サトウですはいその通り。
0:30:22	でございます。
0:30:23	規制庁ツガネですとする際に、今一番
0:30:27	お話ししましたけれども上部困む同様に、上部架構を評価するにあたって、何が厳しいのか、どこをどう厳しくすればいいのか、それを考え、列挙できるということによろしいでしょうか。
0:30:42	日本原電サトウですはいできます。
0:30:45	はい規制庁津金です。それぞれ地盤及び小学校について、
0:30:51	解析とか計算を行うと思うんですけども、その解析を行う場合については、どういった解析で行うのか二次元なのか三次元なのか、利用指揮を行う場合はどの式を使うかということはきちっと示さ示すことができるということによろしいですか。
0:31:12	はい、日本原燃佐藤です。はい、お示していきます。
0:31:16	でその解析のやり方において、解析モデル有限要素法で荷重を行うのであれば、モデルを組んでやると。
0:31:25	いうところで、今その上流からずっと下流まで時の流れを私自分ちょっと確認しながら説明したとしてもらったと思うんですけども、よろしいでしょうか。
0:31:38	日本原燃サトウ差配傾向でございます。
0:31:41	今ですね私っちゅツガネです。私申し上げたようなことをきちっと示して欲しいんですよ。域内ですね、何々を使ってやるとか、何が効いてくるから、もうこれをこう考えるんだっていうのは、まず
0:31:57	繰り返し言ってますけど、結果ありきで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:00	何をどう考えたら、そこまで至ってるんだって道筋が全然が見えてない。
0:32:05	ですよ。
0:32:06	で、その道筋を見せて欲しいということは、繰り返しこちらも申し上げているところで、そんな流れを言ったら私今サトウさんと確認してきたように、ちょっと5行ぐらい進まないかもしれないんですけども、何かある程度七、八段階ぐらいで、
0:32:21	まとまると思うんですけども、その点はいかがですか。
0:32:28	電源サトウです。まとめましてお示しするようにいたします町です。
0:32:33	下、それぞれの段階において、
0:32:36	何を説明すべきかって話が出てくるはずなんですけれども、そういった理解いただけてますでしょうか。
0:32:51	日本原燃佐藤です。はい。
0:32:54	設計のまず全停から始まってそれぞれのを説明する中で何をちゃんと説明しなくちゃいけないかっていったところもお示しするようにいたします。はい。以上です。
0:33:07	規制庁津金です。
0:33:09	で、
0:33:10	それぞれの項目段階で示すべきものってが示されていく中で、今一番下流にあるであろうモデルの話についていろいろ説明を受けているところだと思うんですけども、
0:33:24	まずその大前提と今さっきも確認した部分についてはきちっと示してもらった上で、それぞれ具体個別具体的なところをちゃんと説明してもらって、
0:33:35	示してもらおうということなんですけれども、
0:33:40	今一旦その下流まで戻ったところで、今回決定にあたって、
0:33:44	何を考慮すべきか、何がその杭の設計に対して厳しい影響を与えるのかといったところは、さっき襲ってその地盤の影響ですとか定格の影響があるんですけども、それぞれを厳しくするためには何を考えなければいけないんでしょうか。
0:34:03	日本原燃佐藤です。
0:34:06	今回この機会を坪ネット加工の経営責任にあたってはですね、地中からの影響等、あと上告火口からの影響、この二つがありますんで。
0:34:21	こちらに作用する荷重がある程度の保守性をもって評価できるような評価モデルといったものが構築されている必要があるかと思っております。
0:34:37	以上です。
0:34:38	今モデルの話が出たんですけどその前に、その地中地盤の拘束効果みたいなものが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:46	今回杭の評価には大きな影響を与えると、そういうことを事業者としては主張してると、そういうことでよろしいでしょうか。
0:34:59	はい、上にサトウでございます。
0:35:01	おっしゃる通りでございます、我々が着目しているのは、そういった部材を押し的に評価する。
0:35:09	るためには、ある程度アンケートというか、埋設構造物による拘束効果は下げることによって応答の保守性を担保できるだろうというそういう仮定のもと、検討のほうを進めております。以上です。
0:35:25	既設ツガネReleaseの地盤の影響が国に直接影響を与えるし、上部架構のほうにも影響を与えると、そういうことでよろしいでしょうか。
0:35:37	日本原燃佐藤ですはいその通りでございます。
0:35:41	規制庁の津金です。その例えば地中の埋設構造物が、
0:35:48	本当にその拘束効果に対して影響を与えるかどうかというところだとところは、
0:35:53	当然解析なり何なりで示さなければいけないと思うんですけども、
0:35:59	それにあたってはもちろん含まれているということでもよろしいでしょうか。
0:36:06	日本原燃佐藤です。はい。先ほど拘束効果等も
0:36:13	お伝えしました通り、その拘束効果がありなしによる応答の
0:36:20	保守性、そういったものを
0:36:23	日ろ過できるように、今準備のほうを進めておるところでございます。以上です。
0:36:31	規制庁津金です。それはちょっとモデルの話になってしまったんですけどもおりますけれども、一応今のところ閉校杭にたとえて言うと、杭の設計に対して影響を与えるっていうのが、地盤の拘束効果であるとそれを
0:36:47	その影響が大きいということを検証すると。
0:36:51	検証した上で、その検証結果を、その仮説が正しいかどうかっていうのを示すために、解析を行って示すという、そういうことでよろしいでしょうか。
0:37:05	日本原燃佐藤さん。はい、その通りでございます。
0:37:10	それとツガネです。
0:37:11	ここまで、まずはその基本的な方針について確認したと思うんですけども、
0:37:18	今、私、確認した点について、既設の方で何か。
0:37:24	不足なり修正等があったらお願いします。
0:37:51	増えてもいいですね、増えていきたいというふうに含まれると詰めていきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:56	規制庁浜崎です。今金戸からですね一つ一つこちらからPoint出すような形でいろいろ確認した話っていうのは、今日の資料の1ページ目の前段の話です。
0:38:12	だからその設計モデルに至るまでの話をきちんと説明してくださいっていうのが趣旨ですので、これまでですね8時前CAQ項目2ページ、図みたいな話で、
0:38:27	いろいろ制約があったんですけども、分毎の介護資料に向けてですねそう制約はもう解除という形で今申しましたような前提の話、そこをしっかりとまず説明してくださいっていうのが趣旨です。
0:38:46	事業者のよろしいですか。
0:38:50	日本原燃佐藤です。趣旨のほうを承知いたしました。ありがとうございます。
0:39:02	規制庁津金です。今その方針については、まだそこまでは確認できました。でその方針といいますか事業者の主張を証明すると減少するために、
0:39:15	具体的じゃ。
0:39:18	エビデンスをもって示していただくということになると思うんですけども、
0:39:22	今の資料についてはちょっとあれなんですけども、そういった
0:39:27	実際拘束効果が地中埋設部等が地盤に与える拘束効果みたいなものが実際の評価に影響しお勉強もたらしていると、それが大きいということが、
0:39:41	解析でもうすでに結果を持つてるということでよろしいんでしょうか。
0:39:53	日本原燃佐藤です。
0:39:56	そういう意味では10ページをちょっと開いていただきます。
0:40:12	はい。解析結果としまして、埋設構造物を考慮しない場合の設計モデルに対して、
0:40:23	埋設構造物による拘束効果がある。こちらで検証用モデルと呼んでおりますが、この両者の比較をお示しすることで、
0:40:36	設計モデルが保守的な評価を行うことが考えだけところをお示ししようと今しております。
0:40:44	以上です。
0:40:47	規制庁の津金です。
0:40:51	今ですね、比較されているのが設計モデルと検証用モデルの計算結果を比較というお話されてるんですけども、
0:41:00	まずですね、そのモデル自体を、もともとあったのは、従来から実績のあるモデルではなくて、新たな設計モデル構築したと。
0:41:10	構築してやると。
0:41:12	まずその目的は一体何なんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:24	日本原燃佐藤です。
0:41:29	立ち返ることになりますが、冷却塔へ波及的影響を発生させないこと。
0:41:36	これを確認するためにですね、
0:41:40	発注的影響を厳しめに評価できるこういう設計もどれを我々構築しようとしておりました。
0:41:52	規制庁つのレースでその厳しい評価与えるモデルを構築する。
0:41:58	ために具体的にどのようなことをされてるのでしょうか。
0:42:05	日本原燃佐藤です。
0:42:16	日本原燃佐藤です。
0:42:19	す。そういう意味では5ページ目以降を見ていただきたいんですが、
0:42:32	こちらの左のポンチ絵図にある通り、地中部ですね、ある程度の剛性を持ったものがありますと、この地中部の揺れを口側して
0:42:46	施設に与える地震荷重というものが小さくなるというふうに我々考えております。
0:42:53	ということで、設計モデルでは埋設構造物を大間組み込まないことによって、保守性を与えようというふうに考えております。以上です。
0:43:07	規制庁津金です。
0:43:09	まずそういう
0:43:10	埋設物の影響がないということが保守的になるという話であれば、
0:43:16	まず、検証のモデルについて、
0:43:18	その地中埋設部等を考慮しないで、
0:43:22	評価して、それでもってます。
0:43:27	その影響が大きいんだということを示すべきではないのでしょうか
0:43:32	いきなりですね、その埋設物はなくて、モデルまで変えてってやっちゃうと、
0:43:39	本当にそれが比較対象として正しいのかどうかというのがだんだんわからなくなってくるんですけども、その点いかがでしょうか。
0:43:49	日本原燃佐藤です。
0:43:54	27ページをちょっと開いていただきたいんですが、
0:44:01	こちらはですね、先ほどおっしゃった通り、詳細なモデルにおいて、
0:44:10	横にですね、
0:44:13	動きを拘束する道路ですとか流動化処理だ置いた場合と、
0:44:17	これをとった場合の
0:44:21	コストモデル。
0:44:23	といううんモデルについて評価をしたものでございます。これを見ていただきますと、赤が前へ超す効果をとったホテルの応答

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:39	黒がこそ効果がある状態でのモデルのもとになっておりまして、ほぼ方法っていうかあれ、大体+代替部分の周期体で保守性を持った応答が得られているということは確認の上、
0:44:58	設計モデルのほうの作成の方によって着手しておりました。以上です。
0:45:07	規制庁の津金です。今ご説明いただいたテストモデル、まさに所設計検証モデルでこそ効果が見込まれる部材を引っ張ったものとの比較で、当然拘束するものがあつたほうが評価が
0:45:25	低くなるという結果がどう効くか求められているということは理解しました。
0:45:31	その次に、じゃあその
0:45:33	テストモデルとされたものを
0:45:37	ベースに設計モデルを作られていると思うんですけども、そのテストモデルから設計モデルにいいモデルを変化させたことの妥当性について説明してください。
0:46:01	ですテストモデルと設計モデルこれの違いは、まず一つは、メッシュのサイズが異なります。正しい我々は評価しなければならない。
0:46:17	俺と加工の評価上必要な周波数帯域をちゃんと解析できるモデルであるという前提でメッシュのサイズの変更。
0:46:32	そういったところですか、あと、
0:46:37	実際鉄道モデルには杭といったものをモデルに組み込んでおりますが、杭自体もある程度旺盛思っておりますので、拘束効果まではいきませんが、
0:46:53	動きを止める働きがありますので、そういったものを取り外した形で
0:47:00	設計モデルとかや物を尽くしております。
0:47:05	そういった点を踏まえて、
0:47:08	テストモデルから設計モデルのほうを作り込んでいっておりました。以上です。
0:47:16	規制庁津金です。ちょっと確認しますけれども、先ほどご説明あつたテストモデルというのは、杭はモデル化していたということによろしいですか。
0:47:29	日本原燃佐藤です。はい、モデル化しておりました。
0:47:39	規制庁津金です。今そのテストモデルから設計モデルの値は杭のモデルにモデル化せずに、いい設計モデル作るっていうことなんですけれども、
0:47:51	設計検証用モデルとテストモデルの比較で杭のありなしで、影響の度合いというのはあまりないというか、国がないとさらにテストモデルのほうが、
0:48:03	厳し目になると。
0:48:05	そういうふうに判断されたということによろしいですか。
0:48:13	日本原燃佐藤です。はい、あの設計モデルのほうに杭を入れないことで、地中部の剛性を少しわずかではありますが、落とすことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:27	応答的には設計モデルのほうが保守的に出るだろうという想定のもとで行って おりました。以上です。
0:48:37	規制庁津金です。
0:48:41	今そのする設計検証のモデルとテストモデルで杭のありなしどう比較はされて はいないんですけれども、
0:48:48	規定設計をモデルについて、杭のありなしで比較した結果というのが補足説明 資料に出たと思うんですけれども、やはりその杭がないほうが保守的に結果 が出たということでよろしいでしょうか。
0:49:11	日本原燃佐藤でちょっとお待ちください確認いたします。
0:49:20	はい。
0:49:22	じゃないんですけど。
0:49:24	交渉してる。はい。しているんですよ。
0:49:31	それが古くなってるので、もう少し
0:49:34	頭からこういうことを考えて日本原燃佐藤でございました。
0:49:45	対馬ちょっとあの資料の場所が見つからないんですが確かに。
0:49:49	得意あり杭なしのモデルの比較をして冒頭に大きな差異作用がなかったんで すがそういったところをちゃんと確認した上でモデル化を進めておりました長で す。
0:50:05	規制庁津金です。12月10日に提出された耐震建物23の資料の
0:50:11	通しページ61ページのところで杭のモデル化について検討されて、
0:50:17	改良地盤の変位分布を見たところ、テストモデルのほうが変位が小さかったと いう結果確かに示してあるのでやられてることは理解しました。
0:50:29	私のほうを確認の内容正しいでしょうか。
0:50:35	日本原燃佐藤です。はい、整理いたしました。こちらここでも確認できました。 はい。特に放散のことですが、多分だ形でモデル化した形でお示しておしま した。はい。以上です。
0:50:50	規制庁津金です。今国の県にモデル化の件については理解しました。先ほど
0:50:57	そのモデルの合理化とか設計モデルテストモデルから設計モデルを作るにあ たって、いろいろ書いているというところで、先ほど周波数お話ありましたけど も、そのほかにも今日のヒアリング資料の通し8ページのところでモデルのほ ういて、確認項目、
0:51:13	いうところで、上部構造ですとか、検討断面接触剥離モデル寸法についてそれ ぞれ書かれていると。
0:51:22	レックそれぞれについて、テストモデルから設計モデルに変更するとしたこと によって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:31	それが問題ないのか、合理的な科学的合理的に正しいものかという検証はそれぞれされているのでしょうか。
0:51:45	日本原燃佐藤です。はい。
0:51:47	他の項目をすべて分化した形での評価といったところはできておりませんが、これらが、
0:51:58	今って形での少し設計モデルのその妥当性鋭角的合理性があるところについては、まず各項目の考え方がらしい。それとそれに合わせて、
0:52:16	応答の比較を見た上で、それほぼ検証するというようなことを行っております。以上です。
0:52:34	施設繋がりで。
0:52:37	今例えば断面の話等についても、
0:52:41	補足説明資料の
0:52:44	50 投資の
0:52:48	50
0:52:50	4 ページ辺りからこれはちょっと上部構造物となったんですけれども、
0:52:55	一応補足説明資料の中ではそれぞれの項目合理性確認項目について、どういった理由で
0:53:03	本合理化とか決定モデルの
0:53:07	ゲームで各考慮した項目が妥当なんだということが説明されてるということですよよろしいですか。
0:53:22	評価になると思います。はい。補足説明書の中で、それぞれの考え方は先ほどこちよっと後の言ってることかもしれませんがそういったところについて、考え方、またその結果について記載しているという認識でございます。
0:53:39	規制庁、須賀です。はい。その点
0:53:44	理解しました。
0:53:46	今もしていったいろいろ説明してわかったことなんですけれども、その検証用というからいきなり設計モデルを構築しているのではなくて、一貫一体 1 回ですね、テストモデルというものをちゃんと見た上で設計モデルを
0:54:01	作っているという流れがですね、今その根拠をいただいた資料等ではなかなか読み取れないと。
0:54:10	いうところなので、それではきっちりですね、検証した上で設計モデルは減少読めるからだんだんだんだん変化して設計を行ったものが今回の設計に対して 10 分使えるものと、
0:54:25	いうことをまずだし、そちらの方、事業者の方としては主張されていると、そういう理解でよろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:37	日本原燃佐藤です。はい、その御理解で結構でございます。
0:54:42	規制庁の津金です。
0:54:44	ちょっとモデルの合理化合理性確認については詳細またさらに進めなければいけないと思いますけれども、まずその設計モデルについて、
0:54:54	何を持って妥当なものだという判断をされているのでしょうか。
0:55:09	日本原燃佐藤です。
0:55:18	9 ページ目をちょっと見ていただきたいんですが、
0:55:34	はい。
0:55:37	こちらは設計モデルと先ほどの
0:55:43	テストモデルですとか検証用モデル、
0:55:47	こちら側との差異について、
0:55:52	項目を整理して、それぞれの差異について、それが
0:55:59	適切に設定されているということを確認した上で、設計モデル。
0:56:11	活用の方法を妥当だと判断したものでございます。
0:56:15	以上です。
0:56:19	規制庁の津金です。今示されているか目に示されているというのが、
0:56:23	本日の説明資料のヒアリング資料の 7 ページにも同じものがあると思うんですけども、
0:56:29	ここでその科学的合理性の説明という説明はどういう考え方で設定したかというのを書いてあるんですけども、それがなく、なぜ、なぜそれでいいんだっていうその部分が、
0:56:40	この資料から読み取れないんですけども、その点は、
0:56:45	いかがでしょうか。
0:56:47	規制庁ツガネです。今画面に示されているページというのが、本日のヒアリング資料の 7 ページにも同じものがあると思うんですけども、こちらの表では、
0:57:00	それぞれの設定についての
0:57:03	設定の仕方というか考え方が書いてあるんですけども、それで、
0:57:08	その設定が妥当だという理由が書いてないんですけども、その点いかがでしょうか。
0:57:18	日本原燃佐藤です。はい。失礼いたしました。そういう意味では、そちらの妥当性の確認につきましては、ストウ 12 ページ。
0:57:37	はい。こちら、先ほどの設定項目と一緒にのものでございまして、
0:57:42	それぞれどういった代用に設定しているのかと。すいません設定の設定項目の細かい内容につきましては、ちょっと参考のひもづけをまだちゃんとできておりませんが、例えばメッシュサイズですと 28 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:00	はい。こちらのほうに
0:58:03	梅酒サイズを少し粗くしておりますが、我々が評価しなければいけない。ええと上部構造物の必要な周期体、これをちゃんとを確保した上でメッシュのほうの再増確認しておりますですか、
0:58:21	あと 29 ページに参りますと、
0:58:26	こちらはちょっと断面の考え方。
0:58:30	それと、30 ページには
0:58:36	だめを変えたことによって経営応答が
0:58:43	大きく違わないというようなところを示しておりますし、31 ページになりますと、先ほどありまして杭のモデル化について記載をしております。それと、32 ページには、
0:58:59	その他の向かいって、
0:59:04	また再度少しでこれしているところですか、剥離接触の話をこちらでは、考え方をちゃんと整理した上で問題ないということをお示し
0:59:18	次、資料に整理のほうは進めております。以上です。
0:59:26	規制庁ツガネです。それぞれの項目の妥当性みたいなもの、
0:59:35	ビジネスみたいなものがちゃんと用意されてるということは理解。
0:59:40	しました。
0:59:42	で、
0:59:43	やはりですね、今ちょっと細かいとこまで張ってきましたけれども、前段の部分をきちっと示してもらった上で、だんだんだんだんその各論に入っていくという説明の仕方。
0:59:52	出ないとですね、いきなりその各論から入っているように注が強く、
0:59:57	まずその大前提なんだというところは、
1:00:00	今のところ、ちょっと介護支援がどうなってるかっていうのははっきりしないんですけども、わからないと。ただ、今日いただいて、今日ヒアリング資料で提出していただいたものについてはその第
1:00:10	前提の部分がないと。
1:00:12	なので、この 1-2 モデルの話になってしまったので、
1:00:17	なぜそのモデルを使う作ることになっているのか、そもそもそういうモデル作る目的なんだってところがよくわからなかったということがありまして、ちょっとなかなかいろいろ確認させていただきましてけれども、今のような項目について我々確認したいと考えて今、
1:00:33	地域指定ました。
1:00:37	で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:38	今もいろいろ話も盛り込んでしまっただけなんですけれども、今回の設計において、やはり重要な位置を占めるのが、まずは先ほどサトウさんもおっしゃっていた地盤
1:00:51	等の拘束効果、拘束効果によってこそ国家がないことによって、杭に対して影響が大きくなると。
1:01:00	いう点が一つで、もう一つ、
1:01:03	コストとか、
1:01:05	埋設構造物等はなくなるんですけども、相変わらず地盤はそこにあると。
1:01:10	その地盤が地盤の剛性が与える影響を考慮して、
1:01:15	国へあたり規模大きくなるような検討を行っている。
1:01:18	この2件目については今の私の理解で正しいでしょうか。
1:01:24	日本原燃佐藤ですはい、結構でございます。
1:01:28	施設をつくるですということで、
1:01:31	地盤等の拘束効果の話と地盤の構成と、この二つについて、一つこそ今回ついてないほうが厳しいだろうともう一つ自分構成は地盤剛性が低いほど厳しい影響を与えると。
1:01:47	そういう主張されているということでよろしいでしょうか。
1:01:53	日本原燃佐藤です。はい、その通りでございます。
1:01:56	既設ツガネです。はい、それぞれとそれを検証するために、モデルを組んでという話で、ここのモデルの話ができて、そのモデルで、
1:02:09	そのモデル自体が撤去モデルとしてのものが妥当かどうかと言うてもう一つ確認しなければいけないという理解ですけどもよろしいでしょうか。
1:02:20	日本原燃佐藤ですはい結構でございます。
1:02:24	規制庁の津金です。
1:02:25	今もう今まで申し上げてきたようなことをきちっとですね、まずは大枠として示していただいて、それぞれ事業者が主張してるところの層面を止めていますが、検証をした上で、モデル、今回のその設計の方針が妥当なものであるし、
1:02:43	これに用いるモデルも当然妥当でなければ、K排水できないので、それも適切なものであるという説明がされるということでよろしいでしょうか。
1:02:56	日本原燃佐藤です。はい、結構でございます。
1:03:01	規制庁津金です。今ずっと登録の話もしてきたんですけども、区以外の部材についても同様の考え方で、大前提の話があって、
1:03:11	實際上常務が
1:03:14	構造物は当然地盤上に立っているので、今ずっと主張させてこられた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:20	地中埋設靴等の補足捕捉効果をなしにして時番号下げたほうが当然ほかの部材、上部材についても厳しい評価となると。
1:03:31	というような考え方でいるということによろしいのでしょうか。
1:03:38	日本原燃佐藤です。はい、そのように考えております。
1:03:43	ちょっとツガネです。
1:03:44	であれば、やはり時補足効果というものと地盤の剛性の影響等、
1:03:51	それについて、それらが、
1:03:52	乗客応答に影響を及ぼすんだっていうことをきちっと示した上で個別の設計についてはこうするんだと。
1:04:01	そういう流れになるんじゃないかと思うんですけども、説明の流れとしてそういう流れになるのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。
1:04:11	日本原燃佐藤はい、そのような流れで整理を出し、
1:04:15	ております。
1:04:19	規制庁の津金です。今
1:04:21	ずっと確認してきたような
1:04:24	内容か。
1:04:25	介護資料の
1:04:28	構成等なっているのでしょうか。
1:04:34	日本原燃佐藤です。
1:04:36	そういう意味では5ページをちょっと
1:04:39	賠償ます。
1:04:45	こちらはですねその降伏効果の有無による
1:04:52	修正、そういったものの確認の方法、
1:04:57	御整理しておりますし、その結果につきましては、10ページ目。
1:05:07	に
1:05:10	拘束効果ありなしの影響の方。
1:05:15	ちゃんとした
1:05:18	数値としてお示しできるように今準備をしているところでございます。以上です。
1:05:24	規制庁の津金です。
1:05:27	少なくともですね、
1:05:29	大きき5ページでしたが示されたページについては、もうすでにモデルの話に入っちゃっても最初納品の冒頭のほうで確認した。
1:05:39	大きな流れた設計の目的ですとか、今日とか、そういったものが全然読めないですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:47	もう、あくまで設計モデルの話になってしまっていて、かつ、その設計にあたって考慮すべき拘束効果の影響ですとか、地盤物性の影響についてもついて考えなければいけないという点も、
1:05:59	これは読めないですね。
1:06:01	それぞれ伝統あるものがあって、その前提を証明、ちょっと前提を層面するために様々な方策をとってそのコサクの中身としてモデルを組むか理論式であるのかとか出てくるんで、やはりその大前提のところをきちっと示していただかないと。
1:06:19	各論に入っていてって何でそれやってるんだって話がわからなくなってしまうんですけれども、今示されている。
1:06:26	画面で見ている資料になっていないと思いますけれども、この5ページの前のところに今、米のこれまで確認してきたような内容が書かれているということなんでしょうか。
1:06:39	日本原燃佐藤です。
1:06:44	大前提と方針についてはちょっとまだ記載のほうはございませんが、3ページに戻って、
1:06:54	ダクト、
1:06:57	こちらでまず我々の一番の目的である波及的影響を評価及ばさないようにするために、
1:07:05	モデルをちょっと厳しめにちゃんと見ますよと。その厳しめに組むためには何に着目しなくちゃいけないかという、
1:07:19	それぞれの構造部材と呼ばれる福井やフレームには作用する地震荷重といったものが大きくなったな。
1:07:27	する必要がある。そういった地震課長を有するモデルを
1:07:35	考えていきますという、まず募集を述べさせていただいて、次4ページ目でございますが、
1:07:45	地震荷重を大きくするようとしては先ほどから申し上げました通り、拘束効果、こういったものが影響すると、また、
1:07:59	最大の地震荷重といったものを与える液状化状態といったものもしっかりとらえた上で、設計モデルといったものを作る必要もあると。
1:08:11	さらにはこのモデル自体が
1:08:16	株式の合理性も備えているという。
1:08:19	こういったところにちゃんと着目した上で、
1:08:23	妥当性のほうを御確認していくという流れのもと、
1:08:28	5ページ目からは、こういった

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:35	補足を下の具体的な扱いについてご説明させていただいております。以上でございます。
1:08:45	規制庁、須賀です。
1:08:48	今ですねソトーさん御説明いただいたところは、
1:08:52	最初に確認したところからもうすでにかなりか両方までできてしまっているというふうに思ってます、
1:08:59	要するに 53 ページの前に
1:09:01	先ほどから申し上げている大前提の話っていうのはないと。
1:09:05	いきなりそのモデル話。
1:09:07	入ってしまっても、
1:09:09	なんでそうなるかわからないっていうモデル君ために何かを考慮してるって話になってるんですけども。
1:09:15	その前に設計上厳しく、厳しい条件となるものは何なのかっていうことがあって、その厳しい状況を与えるために解析を行うんだけど、そのための解析で使うモデルはこうなんだ。
1:09:30	ていうのがあるじゃないかと思うんですけども、
1:09:33	その分が何かちょっとたちと事業者の間で認識が異なっている気がするんですけども、私の西のほうの間違っているところでしょうか。
1:09:52	日本原燃佐藤です。
1:09:54	すいません 3 ページ目に
1:09:59	そういった趣旨を書いているつもりはございますがうまく伝わっていないようですので、もう少しおっしゃっている流れとしてしっかりとらえられるように集中性のほうを考えたいと思います。以上です。
1:10:17	コサクですけど、すみません、伝わってないんじゃないかと、
1:10:21	そちらは理解してないと思いますよ。
1:10:24	今の話しても 3 ページに最初書いてあるのは結局設計モデルを構築して書きちゃってるんじゃないですか。
1:10:32	て書きちゃってるけど、今の話を踏まえて、そうではなくて、モデルに入る前の設計の考え方って言って説明し直すんであればよかったですけど、それを説明し直さずにそのままモデルの話として、
1:10:47	つい先ほども説明しちゃっているんで理解していないとしか思えないんですけど、大丈夫ですか。
1:11:04	日本原燃さトップです。
1:11:06	そういう意味では

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:08	3 ページの前に、先ほどご指摘のありました。全停えまあ通つ方針、そういったところが抜け落ちて、
1:11:20	いると。
1:11:22	思います。そこをしっかりと書き加えた上で、
1:11:28	モデルの構築のほうに繋がるように、補正のほうを
1:11:33	考え直したいと思います。以上です。
1:11:43	規制庁津金です。先ほどから佐藤さんとやりとりして内容も別に
1:11:48	私すごい部屋が難しい話をしてつくれ全くなって、そして大前提のところはその飛来物防護ネットどう全体の設計方針になるはず。
1:12:00	だと思ってまして、そうすると、おのずと区以外のものについても同じように、個別のところに入って、個別の部材の評価にあたってはやはり、
1:12:09	いう地盤の拘束効果地盤物質が効いてくるっていう話が大前提で、それに対してどういう設計をするかという話になると思いますので、
1:12:18	まずはその大前提となる、その設計方針についてきっちり見ていただきたいと思います。いかがでしょうか。
1:12:31	日本原燃サポートです。承知いたしました。
1:12:38	規制庁ツガネですと、
1:12:41	私からは、一応、一旦、
1:12:44	確認事項以上とさせていただきます。この方で確認事項ありましたらお願いします。
1:13:09	きちっとツガネです。すいません今ちょっと
1:13:12	次にお話とか堆積お話ししてきたんですけども、もともとその
1:13:18	今回と次回の審査会合で事業者としてどのような説明をされようとするのか説明していただけますか。
1:13:37	日本原電イナヅマです。はい。
1:13:40	次回の審査会合におきましては、これまでちょっとヒアリングでやりとりさせていただいてるというのそれから、そもそも
1:13:49	飛来物防護ネットか簿というものに対して、どのような設計をしなくちゃならないかという的影響を冷却塔に対して及ばないということを目的として何をしなければならなかったところに対して、先ほど松丸さんとサトウの方でやりとりさせていただいた通り、まずは構成部材として、
1:14:09	これまでは杭の設計の話をさせていただきましたが、同様の考え方で人場にまたちょっと加工についても同様の考え方で設計の考え方をお示しさせていただいて、その際に用いるモデルとして、7、設計モデル的な追加解析を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:27	モデルと言ってもな考え方で設定しますということを示した上で、その妥当性について、
1:14:36	説明したいということを考えていたというところでございます。以上です。
1:14:42	規制庁津金です。今画面で表示してもらって資料の
1:14:46	前のほうにその目次のようなものがないのでしょうか。
1:14:51	もしわかってはい本日以降用意しましたがために今日の2ページ、当時お願いします。
1:14:58	すみません、ちょっとその方見ながらポストにすればわかるんですけども、今先ほどから御説明なところについて整理した構成というところ、このページで示した。
1:15:10	昼間でございます。
1:15:12	だから、
1:15:15	日本原燃のフナコシです。
1:15:17	今、今日のヒアリングでのこれまでのちょっとやりとりを踏まえましてですね、この格子AIについての一番の前段階のところが一番がいきなり目的と設計モデルの考え、考え方から入っておりますが、
1:15:34	前の前提のところをですね、空きまして、
1:15:41	今回防護ネットの設計の目的、それから波及的影響を与えないということの波及的影響を与えるための設計の与えないための設計の考え方のところを前段に書いた上でですね。
1:15:56	その上で、それを評価するための設計モデルの考え方で設計モデルの妥当性の確認の妥当性の確認は保守性の確認と、科学的合理性の確認の段階でというところをメインに説明したいと。
1:16:12	その上でですね、最後の設計モデルを用いた波及的影響評価のところは、こういう評価を行いますよというところ述べて結果についてはですね、その段階でできているところがあるかないかというところによりますか。
1:16:31	基本は
1:16:34	三番の妥当性の確認というところまで、あとはプラスαということで考えております。以上です。
1:16:44	規制庁津金です。今フナコシさんおっしゃったようなことを私が今日のヒアリングで一致したと思っておりますけれども、まずはその大きな設計の流れってというのがあって、設計にあたって考慮すべきものは何なのか。
1:17:00	その考慮すべきものとして、どの事業者として一番注目してるのが二つあってと。
1:17:06	そういうものについてちゃんと評価上、きちっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:11	影響が出る影響出ていかせんですけども今日もここ加味した評価ができるような決算行うんだと。
1:17:19	その計算とか評価にあたっては、こういうものを使うんだと。
1:17:23	例えば理論式、例えば、
1:17:25	有限要素法の解析等で、それぞれについて、それぞれかどうかわからないんですけども、それがな。
1:17:33	それらを解析とか警察にあたって必要なものは何なのか。
1:17:37	計算にあたっては、
1:17:39	こういうモデルになったらモデルを組んだ。
1:17:42	教育それぞれの
1:17:45	やり方が、
1:17:46	あと飲むかということの説明していただくという中で、
1:17:50	解析について、
1:17:52	有限要素の解析については、設計モデルというものを組むとあってその設計モデルを組むにあたっては何を考えてるんだ。
1:18:00	そういった流れになると思ってるので。
1:18:06	先ほど参考等で説明されたような内容をきちっと
1:18:11	耐前提として説明していただいた上で、各論に入って、
1:18:17	いうことで、今の説明資料が構成されるということで理解しました。今のよう理解でよろしいでしょうか。
1:18:27	日本語が苦手です。はい、そのような系統構成の説明というところで、
1:18:33	御説明設定できるような施策の資料の構成としたいと考えてございます。以上です。
1:18:41	規制庁込みです。ちょっと確認なんですけど、基本的にはもうモデルの妥当性の確認ということで、今示されて次の3ポツのところまで、
1:18:55	そういうような話でしたけどその後の結果の部分を何か間に合えばみたいなことでおっしゃっていたので、よくわからなかったんですけどそのあたり今どういう進捗で、どういつもりなのか、結構まで説明するつもりなのか、今回は、
1:19:13	このモデルでいきますというところまで、何かもう少し説明いただけますか。
1:19:23	日本原燃佐藤です。
1:19:25	34ページをちょっと出していただけますか。
1:19:34	別途、こちらの表は波及的影響評価の結果整理する上で各地
1:19:45	注目したければいけない構造部材ごとの発生している応力に対する検定結果をお示しする。
1:19:56	表でございますので、このうち、情報を加工については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:06	全応力有効応力に関して評価結果のほうを一部ではございますがお示しできるうと思いますので、お示ししたいと思っております。ただ、
1:20:18	基礎に関しましては、間に合いませんので、そこは築地という形で
1:20:26	御示してある程度の見通しは確保できたといったところを御説明させていただきたいと考えております。以上です。
1:20:38	規制庁カミデです。
1:20:41	できたところまで間に合ったところまで会合で説明したいと言われているんですけど、その意図っていうのは何だったんですかね、綺麗にそろったところでいいんじゃないかという意見を作って何か考えましょうか。
1:20:59	日本原燃佐藤です。今回波及的影響ということで、
1:21:06	やはりもちろん基礎ダイセツなんですが上部架構がどうなっているかといったところが、最終的には
1:21:16	確認の必要になりますので、その部分につきましては、見通しをお示ししたいというふうに思っております。そういう意図で土木加工の方の
1:21:29	結果をお示ししようと考えておりました。以上です。
1:21:34	規制庁カミデです。今日何回も話をしている目的っていうところで飛来物防護ネットを保守的に設計するっていうのが目的なんだということで、理解いただいたんじゃないかと思えますけど。
1:21:52	その目的を果たしたんだという説明を次回の会合でするのか、或いはそうではないのかっていうところがよくわからないんですけどあの、お答えいただけますか。
1:22:06	日本原燃佐藤です。
1:22:08	はい。目的を達成できる見通しが得られたといったところを御説明したいと思っております。以上です。
1:22:19	規制庁カミデです。そのあと、次回そのあとに会合で、
1:22:26	最終的な結果を説明するつもりがあって、
1:22:31	とはいえ、先に見、
1:22:33	当初は示したい、そういうことなのか、今回、先ほど上部学校 5 ポイントだからというような話をしたので、頂部学校だけ結果が出てもうこれで終わりですって一体何かその辺がよくわからない時してるんですけど、説明いただけますか。
1:22:52	日本原燃佐藤です。
1:22:55	もちろん重複の大切なんですか、その下が壊れているという状態ではその評価委員が朝 7 出しませんので、もちろん、その結果についてもしっかりと整理できた上で追ってお示ししたいというふうには考えております。
1:23:14	今日です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:20	規制庁カミデですか。
1:23:24	どこまで出すかはある程度事業者の裁量だと思いますのでおまかせしますけど、
1:23:32	説明目的みたいなのもなっあまりちょっと見通しをただ示したいっていうだけではなかなか有効かの確定、もう少しその理由づけなりですねはしてもらって、今回、
1:23:47	やっぱり海溝というところですけど、すごくいいところ。
1:23:53	検討いただければと思います。その上で、結果を示すということになると、ただただこの表の結果だけ見ても、しょうがなくてですね。
1:24:04	結局補足説明資料みたいなものでエビデンスを確認しないと何とも判断のしようがないんですけど、その辺りの資料の提出スケジュールだとか、どう頑張ってますか。
1:24:36	日本原燃佐藤です。おっしゃる通り、
1:24:40	単に結果だけでそれを示せエビデンスがないと意味がないと思いますので、それについては、
1:24:47	あわせて、
1:24:52	すいませんもしありません。エビデンスにつきましてはですね、
1:25:01	23日にはちょっと間に合わないということなので、あくまでも見通しでそれを確認いただくのは、そのあとというような状態で
1:25:16	私させていただきたいというふうに考えております。以上です。
1:25:23	規制庁カミデですそういう状況でも見通しを示すということなのであれば、
1:25:31	まず
1:25:32	その会合の資料においてもですね、詳細なエビデンスはまた今後説明しますという
1:25:41	形きちんと
1:25:43	ステータスを示して示した上で、見通しを語りかけ語っていただくということで、
1:25:52	その辺御きちんとわかるようにしていただければと思います。
1:26:00	日本原燃佐藤です。
1:26:02	ご指摘の種ステータスの件しっかりと飛行機した上でお示しするようにいたします。以上です。
1:26:13	はい、規制庁関係する
1:26:15	とりあえず私のほうから、一応ですね。
1:26:22	早速ですが、今結構、結構っていう話に出てきたんですけど。
1:26:27	そもそも地震動をSsSSC湾を暫定的に使って話をしていて、最終的に何を使うかっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:41	アウトプットを見ている、
1:26:44	厳しいものということだったと思うんですけどそのあたりももう終わってるんですか。
1:26:52	日本原燃佐藤です。33 ページをお願いします。
1:27:00	すみませんちょっとまだ資料のちゃんと整理できてないんですが、
1:27:05	施設秋保適用容器地震動というの選定の方法については、ちょっと整理をしまして、
1:27:19	その結果を今
1:27:23	ちょっと見やすい形でお示して影響の大きい地震動のほうの選定についても、
1:27:35	を確認いただきたいと思って準備を進めております。
1:27:41	こちらについては
1:27:43	資料提出時にまでは
1:27:48	次を。
1:27:50	水曜日の提出時期までには整理して示したようにいたします。以上です。
1:28:00	補足ですけど、今のは、補足説明資料も含めて水曜日って言われたっていう理解ですか。
1:28:14	日本原燃佐藤です。あ、すみません、補足説明資料は、
1:28:18	えっと想定しておりませんでした。
1:28:23	町です。
1:28:30	コサクですけど、想定してないっていうのはどういう意味なのか。
1:28:34	すみません。わかんない。PowerPoint 浅く日本原燃佐藤です。すみませんパワーポイントのほうでデータ整理のほうはしてお示しますがそれをいろんなデジタル数値として補足説明資料に落とし込んで、
1:28:52	提示できる状態にはすみませんちょっとまだ
1:28:57	ので。そう、そういった状態での御説明になります。以上です。
1:29:04	はい。水曜日はコサクです。水曜日はその断面だということがありましたけど、
1:29:10	補足説明資料いつ出るんですか。
1:29:24	日本原燃佐藤です。
1:29:27	こちらについては、
1:29:35	日本原燃佐藤です。20 日までには掴めるに今これするように作業のほうを進めております長ですし、
1:29:54	姑息実販とりあえず状況 5 個言いました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:58	ここでも、この地震荷重に着目してとかですね、各パラメーターでっていうふうになっているんですけど、先ほどから話あったように、今回、今日のヒアリング資料としては、杭を第1例としてと、
1:30:14	いうことででかい孔ではそれ以外の部材も含めてということなんですけど、先ほどの目次とかを見ると、杭
1:30:22	それ以外の部材等がどうか。
1:30:25	会合で説明されて、
1:30:28	最終的にこういうことを見ていけばいいということになるのかちょっとよくわからないんですけど、そのあたり説明していただきます。
1:30:47	日本原燃イナヅマです。本日すいません共有資料の、またそれで1ページのほうをお願いいたします。
1:31:04	すいませんとこういうの介護系の構成案の2ページをお願いします。
1:31:19	2番目のイナヅマです。先ほど江藤のほうからお話しさせていただきました通り全停止交通に入る前単価のところでしたらしっかり前提を欠くところを踏まえまして、そもそも出て加工っていうのはといった格好舞台で構成されているのかと。
1:31:37	いうところをしっかりと今回の
1:31:41	を有している絵と資料の中では
1:31:44	具体的ななかったという等ございますので、ちょっと補訂全体の構成となっているのか、また、それぞれの区域ですとか、ちょっとここについてのような評価をしなければならぬかというのを前段でしっかり整理した上で、1ポツ以降の設計までの考え方ですとか、あと1100人方法を説明したいと。
1:32:03	考えてございますので今回はちょっと資料のほうではまだそちらの
1:32:08	ページのところはどういうふう実績があるのかというところは、整理できておりませんでしたので、そこを整理した上でお示したいと考えてございます。以上です。
1:32:17	コサクですけど私の質問を理解しての回答なのかどうかちょっとよくわかんないんですけど。
1:32:27	5から9ページは今杭として書いてあって、それ以外の部材についてはまだこれから入れ込んでいくつもりだということを言われてるんですか。
1:32:41	日本原燃佐藤です。
1:32:47	今回、設計の対象とすべき部材設計対象の剤なんですが、日もありますし、基礎バリア等、
1:32:59	上部架構のフレームや後、
1:33:02	です。これらは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:05	或いは杭を
1:33:09	各語ると全部入ってくるような部分でございましたので、
1:33:16	評価結果すいません。その点では
1:33:20	ちょっと今週だって全然すべきヒアリングの最初のほうで、
1:33:25	論旨としては適切ではなかったもののお話をする。
1:33:30	されたその解析のフローの中で、
1:33:34	悔いがどの範囲であり、
1:33:36	気相部はどんどん範囲でありとかっていうのを示されたページがあったと思うんですけど。
1:33:43	明らかにいから外れてる部分もあったと思うんですけど、そこら辺、どう考えてるんですか。
1:33:56	来日本原燃佐藤です。そういう意味ではちょっと 23 ページを見ていただきたいんですけど。
1:34:09	ピンクで囲まれた部分については、もちろん一番上段にその解析モデルがあって、スポから出ておきて三次元のフレーム解析した時そのフレーム解析が入って、
1:34:24	そうそこからのアウトプットレイクの設計がないかと。
1:34:29	で見ますと、それを模式図的に書いてあるのが 24 ページ。
1:34:38	なんです、これは杭なんです、これに対して残りの基礎ばりの設計はじゃあどうやっているのかというと、25 ページのほうに
1:34:52	この設計の中へ入ったものをちゃんと整理して
1:35:01	御説明できるようにしたいと思ってますそれと 26 ページに行きますと今度は
1:35:09	上部架構のほうのプレストフレームの設計といったものは、
1:35:16	一番の応答解析計画から三次元のフレーム解析モデルを通してやるとか、
1:35:22	そういったところがちゃんとお示ししていけるように、資料のほうは整理して、個別の部材についても、御説明できるようには準備しております。
1:35:36	以上でございます。
1:35:38	コサクですけど、細かく作っておられるのはわかりましたけど、
1:35:45	最初に 13 ページだったり今のページでも座屈拘束ブレースの話っていうのは、杭の話では直接語れないような資料になっていてですね、なのにそれをこういうふうに拡充してこういう構成で本。
1:36:00	本論を展開しますと、
1:36:03	いうことを言われたいのは何ですか。
1:36:08	日本原燃佐藤です。そういう意味では今抜けております。大前提とか方針の中にですね、もう一つ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:21	設計対象とは一体何なのかといったそういう明確カー設計対象を明確にする というところを入れ込みたいとも思っております。その中で個別部材にいて、悪 意です。区以外の部材について、少しちゃんと整理して
1:36:39	お示しするようにしたいと思っております。です。
1:36:44	補足です。ちょっとやっぱりよくわかんないんですけど、今日のヒアリング資料 は、杭を例にしてやって今見せていただいているのはそれ以外の部材も含めた 形のものとして作り込んでいると思っていたんですけど。
1:37:00	5 ページから 9 ページ辺りにはまだ杭のものも入っていないという説明のよ うにしか聞こえないんですけど、ということですか。
1:37:15	日本原燃佐藤です。そういう意味では、
1:37:20	5 ページ開いてもらっていいでしょうか。
1:37:35	この下の表である我々が着目しなければいけない新荷重について、
1:37:42	せん断力が不可曲げ降伏変位といったものを挙げております。こういったもの が他の部材の設計にもう全部使われますのである意味、
1:37:52	これがは他の部材式について、すいません。
1:37:57	補足です。何度も同じような説明させちゃってるんで読みましたけど、座屈拘 束プレスはこのパラメータないというふうに先ほどの説明資料にあってです ね。
1:38:09	そういったところをちゃんと抽出してこれが網羅的に対応する全項目ですとい うことの説明なしに、
1:38:16	来ているという説明なしにというかそもそもそれを考えた資料にもなっていない と。
1:38:21	いうことだと私は理解をしたんですけど、それがなぜですかと。
1:38:27	あくまでこれが全部取ってやるってことですね。
1:38:30	日本原燃佐藤です。申し訳ございません
1:38:34	おっしゃる通りでございました
1:38:37	座屈コースプレスは応答ひずみといったものに着目しますというふうに
1:38:46	成立性。
1:38:53	しなければいけませんのでそういったところもちゃんとお示しできるように、
1:39:04	項目のほうを
1:39:06	示した上で、
1:39:09	示すようにいたします失礼いたしました。
1:39:13	はい。補足です。そういったところをしっかりと見るというのが、ここまで資料作 っていたのであれば整合なりを、それぞれの資料の中で整合なり確認してい けばわかるはずであって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:26	そこらへん本レビューでチェックをするっていうのが上位職の人
1:39:33	やるべきことなんじゃないのかなと。
1:39:36	思っていますので、しっかりと体制強化したんでしょからやっていただきたい と思います。
1:39:42	率直に私かわからないのはですね、このページでいいんですけど。
1:39:51	右側の挙動の予測のところ、施設の固有周期体と書かれていて、結局
1:40:02	山の左側と右側で
1:40:07	右側が厳しくなるほうが今回注目すべきものだと。
1:40:13	いうことを言われてるんだと思うんですけど、この施設の固有周期体機能は一 体何の固有周期のかと。
1:40:22	施設っていうのがその上部架構 7 日来そうなのか、冷却塔なのか何なのか と。
1:40:29	いうようなことがわからなくてですね、それが結局注目する部材ごとに何か違 うのか一緒なのかと。
1:40:38	いうことにもなるんですけど、どう見ればいいんでしょうか。
1:40:52	日本原燃佐藤です。
1:40:56	今ここでお示しています施設の固有周期体っていうのは、ネット加工の方法 の周期体のほうをイメージして記載させていただいております。
1:41:13	以上です。そこです。そうだろうなと思ったんですけど。
1:41:17	そうだとすると、なんでネット加工の周期体さえ考えていばいいのかというこ とがわからなくてですね。
1:41:24	ていうのも、当初お話ししてたのは、液状化っていうのがしたほうが厳しいのか しないほうが厳しいのかわからないと。
1:41:33	ということなので両論併記で解析なりを実施して健全性を説明すると言われて いたのが、
1:41:42	この資料だったりほかのページでも液状化をした方が右側のほうが大きくなる ので、そちらのほうが厳しいんですけどってような表現になっていてですね。
1:41:53	だったら非液状化によってもいらないじゃないかっていう感じがするんですけ ど、その辺りのロジックがなんかずれてるような気がするんですよ。
1:42:02	ていうのでちょっと考えを整理をして教えて欲しいんですけど、今何かいえるこ とでありますと、
1:42:23	サトウです。そういう意味では我々ある仮設の持とうこういった駆動するだろう というふうに想定はしておりますが、その通りかどうかってことについてちゃん と検証した上で、
1:42:41	仮設の妥当性なりを確認しようということで作業を進めておりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:51	ほんで結果が伴わなければちょっとこの仮説が実は間違っていたということにも、
1:42:58	なりますので、
1:43:01	仮説検証を通して可能。
1:43:05	この考え方を、すみません、古作です。警鐘をさっき結果の話もされてたんで形式検証はできてるんじゃないんですか。
1:43:17	はい。
1:43:19	こちらにつきましては、また仮設のような、やはり
1:43:26	嘘効果がなくなると施設には厳しめの音が出るということが確認できています。
1:43:33	以上です。
1:43:35	補足です。なので、何か検証で駄目だったらとかっていうのも現実的にはない道まで考えながら、いろいろ説明する必要はなくてですね。
1:43:49	その検証内容が比較的わかりやすく説明できるのであれば、設工認の本体としては、もう厳しいところだけを評価をして、なぜそれでいいのかの説明として補足するというだけでもいいんですけど。
1:44:03	なんかそこら辺の整理が十分できているように聞こえないので、まとめておいていただきたいと元に戻って、
1:44:12	ストウなんで右側が厳しいいいほうだけでいいのかということ
1:44:18	その整理するのに部材ごとに話をすると、当然上部架構のほうは、その事態の応答が厳しいほうが厳しいに決まってるのでいいんです。
1:44:31	基礎ばり杭地盤といったところはなぜ上のほうが厳しいほか厳しくなるのか。
1:44:42	ていうのもわからないということだと思いますし、上の方からの影響がより強く、
1:44:51	来るといことなのかなと想像はしますけど、その辺りの関係性をちゃんと整理をして説明いただくということだと。
1:44:58	で、
1:44:59	こら辺で安易にそこ書いちゃってますけど。一概じゃないんだらうなと思ってますけど私のす。
1:45:08	イメージは間違っているのかどうか。
1:45:12	可搬教えていただけると。
1:45:17	日本原燃佐藤です。
1:45:20	おっしゃっていただいた通りで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:23	キシノついては、もちろん基礎自体に入ってくる箇所もありますし、上から来る、そういう感じもあるので、そういったものをすべてどういう関係にあるのかと いったところをちゃんと整理した上で、
1:45:38	示しいたします。
1:45:40	以上です。
1:45:44	はい、お願いします。
1:45:49	はい。
1:46:08	それと、
1:46:11	ちょっと確認させていただきたいのが今日のヒアリング資料の7ページに、
1:46:17	評価としてこれら二つ目に発掘接触剥離様子。
1:46:21	御説明があつて、
1:46:23	撒きサトウ埋戻どの教科面に対して接触剥離を設けないということで、
1:46:29	基礎と埋戻部の境界面についての説明しかされていないんですけども。
1:46:37	境界面てほかにもいろいろあつて地盤改良体と埋戻度とか地盤改良体とマン メイドロックとか地盤改良体と支持岩盤とか、
1:46:48	あるかと思うんですよ、これらについてはどういう設定になっているのか教えて いただけますか。
1:47:03	今回のイナヅマですとモデルの詳細になりますので、放射線対策さんのほうで 実際の設定状況について御説明えと補足いただけないでしょうか。
1:47:14	はい、大成建設の堀田です。現状の設計までにつきましては、接触113設け てないということも考えておりまして、液相埋め戻してから例えば改良地盤とメ モとして、こういった箇所につきましても関所各位営業運転ストウにつきまして は設けておりません。
1:47:34	以上です。
1:47:36	規制庁の技術検証用モデルの設定はどうなってるんですか。
1:47:40	はい。江藤憲章用モデルにつきましては、構造物と地盤すなわち基礎的名簿 土質に関しまして、現状ですね告白了承を受けてございます。
1:47:54	また特に
1:47:56	周辺、どこ行った箇所につきましても、同じくご存知です。
1:48:01	いう扱いとなっていると考えておりますので、この箇所についても、内例目戻し いたしまして、宿泊を設けたようなモデル化としております。以上です。
1:48:12	規制庁の中心です。検証用モデルにおける地盤改良体と埋戻どの協会と地 盤改良体とマンメイドロックとの境界とか地盤改良体周りの境界条件はどうな ってるんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:26	はい。こちらの部分につきましては現状のモデルとしては設けていないようなモデル化というふうを考えております。以上です。
1:48:36	規制庁のキシノです。
1:48:38	うまくジョイント要素を設けることで、地盤改良体が支持岩盤の上で滑ったりとか、周辺の埋戻同等縁が切れて剥離したり地盤改良体単独で検討したりってというような挙動が
1:48:55	表現できるようになると思うんですけど、検証のモデルでもそういった設定をしていない。
1:49:01	というのがどういう考え方に基づくものなんでしょう。
1:49:08	はい、大成建設のホンダです。今回週目の改良地盤につきましては、扱いといたしまして、基本的には地盤岩盤という扱い評価というふうを考えまして、現状のモデル化といたしましては接触剥離設けつつ、
1:49:26	地盤岩盤と一体となって教育するというふうな考えのもとで設定していないという状況でございます。以上です。
1:49:35	施設のキシノです。
1:49:36	凝縮波及的影響の評価をするいろんな想定事象の中には地盤改良体の滑り出し活動とか、店頭といったことも、こういった解析結果からアウトプットを使って評価するというような説明が以前からあったと思うんですが、
1:49:54	それが表現できないモデルからどういったアウトプットを出していくといった評価に持ち込むのかちょっとわからないんですけど、そこら辺まで間伐の設定ということでもよろしいでしょうか。
1:50:11	について、
1:50:13	大成建設タカハシです。今
1:50:18	改良地盤は試しての岩盤協の活動は起きる起きないというふうな判断はですね、地盤改良体の最下面におけるせん断力、それと、滑りに対する抵抗力、
1:50:36	それを比較することで、活動の起きる起きないよう判定しようそう考えております。以上です。
1:50:44	社長のキシノです。
1:50:47	支持岩盤じゃあ埋戻どつと地盤改良体が一体化された条件のモデルで活動するかしないか検討するかしないかっていう適切に評価できる。
1:50:59	もんなんでしょうか。
1:51:07	ちょっと野菜制限をかけた形で、やっぱり用いっぱい持って動いてしまってそこから力を取り出してきて評価っていうのはそれを実現象に対して今どの程度その再現性があるのかちょっとわからないんでそのあたり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:23	そういう条件設定のきちんと評価できるそういった実績もたくさんあるとかそういった説明ができるのでお願いできますでしょうか。
1:51:34	地域
1:51:38	大成建設タカハシです。すいません実績があるかないかというふうなのはちょっと私のほうで今の現時点で適切な回答はできないので申しわけございませんで、その次、適切に評価できるかどうかというふうな
1:51:57	話なんです、今接触剥離様相を設けた場合、既定の与え以上のせん断力ないしは応力が発生した段階でアプリという現象、
1:52:11	いわゆる非線形の特性的な状況になると考えております。なので今発生しているせん断力一体となるという前提のもと、発生していったせん断力を確認することで、
1:52:29	剥離が起きる起きないというふうな判定はできると考えております。で、せん断活動に対しては今説明した通りです。店頭の方に対しても、その接触面において、鉛直方向の軸応力度がどのようになっているか。
1:52:46	その判定って、確認をすることで検討するしないというふうな判断もできるそう考えております。以上です。
1:52:57	規制庁のキシノですはい。完売わかりました。
1:53:04	それでは総合評価できるという事業者の判断ということで、そこはちゃんとエビデンスを持ってきちんと説明をしていただきたいと今の資料のほうでですね、接触剥離要素についてを基礎とメモ帳の境界面に対してという説明しかない。
1:53:21	別途ほかのところについて何も触れてないということは、ちょっと介護補足説明資料の耐震建物 23 診てもですねちょっとそこまで十分読み込めてないだけの話の種類ですが、あんまり説明が十分でないように思いますので、
1:53:36	その設計の考え方、根拠とともにそこはきちんと説明をしていただきたい。
1:53:42	思いますベースでもうひとつははっきりとか転倒がどうなのっていうことを設定ですね、必修課地盤改良体と埋戻度との間でそういった剥離とかを設けてなくて、一体となって挙動するっていう条件であれば、
1:53:58	地震動は大体月に今回設計モデルの地盤改良体の両サイドっていう埋戻しも全部
1:54:08	モデル化しておりますっていうことなんですけど。
1:54:10	両方がこう量から買うの加わる荷重がバランスしちゃって結局あんまり保守的にならないとかそういったことないのかなっていうこともちょっと想定されるんですけれども、今回その接触剥離を設けない検証用モデルも含めてですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:28	そうすることで、きちんと評価できてしかももしかもしかも取り組ま保守的な結果も得られるんだよってということっていうのは説明できそうな見通しでしょうか。
1:54:50	それで、それで。
1:54:53	大成建設の堀田です。はい。今ご指摘いただきました点につきましては、やはりC腰が志賀のかというのは、市の検証の状況をモデル化の床としますので、実際ですね、債券モデル化をしてまでちゃんとファイル化といったような分析、こういったことが必要だというふうに考えている場です。
1:55:15	数値を示すはい幹部がいいと思うんですけど、今分析とおっしゃったんですけど、どういう方法で分析を採用しようと考えている考え方を教えていただけますか。
1:55:25	はい、やはりですね実際にこうモデル化をして、これも結果ありというところでちょっと申し訳ないと思うんですけども、やはり実際にやってみて、どういった結果が得られるかといったような形の解析が必要かなというふうに考えてございます。以上です。
1:55:41	規制庁のキシノすみません。実際にやってみてっていうのが接触剥離の調印等を入れたモデルでやってみて、それと比較するという意味でしょうか。
1:55:52	はい、大成建設の大政はいその通りでございます。
1:55:57	規制庁の木です。はい、わかりました。そういったちょっと条件を変えたモデルとの比較での検証を考えているということで理解しましたので、そこら辺の詳細についてはもっと資料などで、改めてご説明をお願いします。
1:56:14	中国は以上です。
1:56:21	以上です。
1:56:30	規制庁ハバサキです。そしたらちょっとこの
1:56:34	資料についてですね 10 日付の資料について何点か確認、コメントしたいと思います。
1:56:41	最初の 1 ページ目なんですけれども、
1:56:44	冒頭お話がありましたように、とにかく設計モデルの設定方針に至るまでのプロセスの話を準備してもらおうということなんですけども、今回の資料に関しては区域層を対象にした積極的の設定方針という流れになってきていると。
1:57:02	いう理解のもとです、まず 1 ページ目に、そこで評価するのは、地震荷重を大きくするという観点で今後設計モデルの考えを示していきますっていう展開になっているというふうに理解してます。今この
1:57:19	資料ですと杭に作用する地震荷重って何っていうのがこれわからない。
1:57:24	あとで例えばですけど 8 ページ目の一番、一番右下の手のフローですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:31	要は杭の設計に用いるのは、地盤からの変形と上部からの力、基礎からの力ですよということがまずわかるように、それを悪意されるする地震荷重であってそれを大きくするためのモデル化方法考えますっていうのを、
1:57:48	ね、1 ページ目のほうにですね、8 ページの府をこれ以上あったんですけど、これ前へ復活させないですね、或いは要点だけ文書で示すなりして、まず何をというところがわかるような形で、
1:58:05	資料の構成のほうをしてもらいたいと思います。取替いただきましたでしょうか。
1:58:13	時間外にアドバイスを補正拠点かしこまりましたと8 ページの増嵩守ってくれるか文章にするかと検討いたしますが、そもそも地震荷重と杭の設計における地震荷重とあと、
1:58:24	いうところがわかる形で出荷修正をしたいと思います。以上です。
1:58:29	規制庁尼崎年数であろうせません。はい、どうもすいません規制庁カミデです。これちょっとハバサキさんに確認かもしれないですけど。
1:58:39	今は伝えたことっていうのはそういうことがわからないよっていう資料になっているので、会合資料の際には気をつけてくださいねということで、この杭の狩猟ブラッシュアップしてもらった何かということではないということでもいいですか。
1:58:56	ハバサキです。この分の資料だけの話ではなくて、今さっきの話で、さっきのコサク調査官の話で、地震荷重を大きくするっていったときに、例えばダブルベースに関しては、やはりその区域同じ評価項目は関係なくて、ブレースの
1:59:14	逃避ず応答の歪であったり、それ率になるわけですから、それを大きくする条件という形になるわけですし、上部区画は上部架構でまた似てるけど違うような項目になるので、
1:59:30	それをそれぞれの部位に応じて、最初に冒頭、示してくださいっていう趣旨です。
1:59:41	はい、規制庁コピーすごくありました事業者の方もそういう理解でよろしいですか。
1:59:47	2 本目のイナヅマですか。今ハバサキさんのおっしゃったところで杭限らず、ほかの構成部材についても、何か設計として用いる値心配とかというところを明確にして記載するというところ。
2:00:03	修正したいと思います。
2:00:05	はい。わかりましたすみません、市町村で済ませて続けてください。はい、規制庁だけど単に時の資料だけの話ではないということをお伝えしたかったことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:18	それと、次 3 ページと 4 ページ、ちょっとこれ確認なんですけども、これも先ほど話が出ました江藤スペクトルの図で固有周期に相当するところが大きくなればみたいな、
2:00:31	説明図になってるんですけども、基本的には水平のイメージだと思うんですけども水平応答のイメージだと思うんですけども、上限についても同じことはいえるという認識でいいんでしょうか。
2:00:47	日本原燃サポートです。
2:00:52	このモデルを今我々のほうでもちょっとふえてみていろいろ検討している中で、水平については、まさしくこういうことがいえるだろうというふうに想定してそういうちょっと確認し、指定しつつあるんですが、
2:01:09	鉛直についてはですね、モデル上で、拘束効果みたいなそういう保守性を与えることができていないだろうという今、
2:01:22	うん式です。ですんで
2:01:26	モデルを変えるのかとあれですが、何らかの可能鉛直方向の保守性といったものを
2:01:36	またやり方なのか、評価の仕方なりを今都政今まさしく整理しているところですので、それも
2:01:46	あわせて資料のほうにちょっと
2:01:48	落とし込んで、ご確認いただきたいというふうには思っております。以上です。
2:01:55	はい。規制庁ハバサキです。説明理解いたしました地震荷重というのは水平荷重だけではないんですね、その点も含めて説明をお願いしたいと思います。
2:02:08	それから 3 点目に行きます。
2:02:11	5 ページ、資料の 5 ページのちょっと投票の中に、状態 B-2。
2:02:18	というのがありますので、そのマイナスは ∞ の地盤の話ですけども、主地盤物性のところにそのほんのわずかな液状化状態を模擬って書いてあるんですけども、これは状態 B-2 っていうのは、液状化の状態を
2:02:36	変えるために、中間的な話に状態にするために設定している、そういう条件なんでしょうか。
2:02:52	日本原燃佐藤です。
2:02:55	状態 B-2 っていうのは、
2:03:01	現戻しどの地盤剛性をやわらかくしているんで、液状化の厳密に言うと、液状化とは違う状態です。はい。以上です。
2:03:15	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:16	規制庁ハバサキです。液状化に伴う埋めどのを剛性の低下を一つマイナスは神話の御整理したということなんだというふうに今の説明は理解しましたそうするといわゆるその地盤物性のばらつきで見るマイナス安心はとは違う。
2:03:35	要は地盤物性の場合には確か支持岩盤の訪問マイナス安心はすると思うんですけれども、
2:03:42	それとは違うというケースで理解しておけばいいんですでしょうか。
2:03:49	日本原燃佐藤です。はい。ここでのマイナスの手話埋戻シートを武井
2:03:56	に対して、
2:03:59	安井湾シグマを掛けたものでございます。
2:04:03	以上です。
2:04:05	規制庁ハバサキです今の説明は理解しましたいずれ耐震評価をする上では地盤物性のばらつきで埋めどであったり、表層地盤がなめどであったり、支持岩盤についてもマイナス安心をするケースは、
2:04:22	何らかの解析方法手法で実施されるというふうに考えていけばよろしいという理解でよろしいんですね。
2:04:31	日本原燃佐藤です。はい、その通りでございます。
2:04:38	はい、山崎です。静聴紙です。どうぞ。
2:04:45	規制庁カミデですと5ページのところで、今お話あったんですけど、招待Bツリーのほうでほんのわずかない以上とか、経営の方はちょっと言葉として適切ではなくて先ほど説明されたような若干やわらかい地盤の状態ということで、
2:05:06	で、
2:05:07	そのあたりまずあのどんなケースを想定してるのかっていうのをもう少しわかりやすく書いていただければと思いますけれども、よろしいですか。
2:05:21	日本原燃の佐藤です。はい、ストウ承知いたしました。状態Bの
2:05:29	備蓄水ですね、ちょっと表現が
2:05:34	必須でないところがありますので、修正してValue直します。以上です。
2:05:42	規制庁カミデですって後ですね
2:05:46	この表タテウチ状態Aっていうのがこれ検証モデルの話で、
2:05:53	招待Aは
2:05:56	オレンジの液状化と比較するもの。
2:05:59	という状態BはBITSは両サイドのオレンジ緑の異常か気液消火と比べるものを、なので、
2:06:09	状態AとBは技術を比較しないですよ。
2:06:12	なんてですけど、同じ表にあるとされてこれ出す食べて比較して段階的というようなイメージで見えてしまうんですけど、その辺、事実関係をまず確認したい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のと、あと表は分けて記載すべきでないかと思えますけど、その変化を作って、
2:06:36	日本原燃イナヅマです。まず冒頭、一つ目のところでございますけれども、おっしゃる通り、状態Aというものは液状化との比較でございます。
2:06:48	導体BチームA2 というところは、液状化と非液状化の間に入ってるという学説パブリックというところは3ページ4ページでは分けて記載していったところでございますが、そこページで併せて記載してしまったというところがございますので、ここは、
2:07:05	それぞれ比較対象が違っているということもありがとうございますので、量としては、招待えと状態Bというところは分けて記載するようにいたします。以上です。
2:07:17	はい、規制庁込みですお金ました。それともう一つをよくわからないところ今検証用モデルとの比較っていうのは、液状化のケース、溶融控除解析いただけやるっていうことなんですけど。
2:07:33	全応力のときに、検証用モデル等、
2:07:37	非液状化のモデルを企画するっていうことを
2:07:42	やらない理由というかやらなくていい理由ってとういうものを考えてるんですか。
2:08:24	日本原燃佐藤で少々お待ちください。
2:08:34	日本原燃佐藤です。すいませんちょっと表現がまずいんですがこれ全応力有効応力、両方で教会1する今
2:08:47	です。
2:08:48	弊社の方進めております。
2:08:52	はい、そうです。
2:08:56	はい、支店長カミデリズムわかりました今までの説明だと確か検証モデルの全応力やるような感じがあったので、やられるんじゃないか確認しますとですね、この辺は適切に反映していたということです。
2:09:12	間違うと、このページで最後ですけど、今度またPワン率の話に戻りますけど、液状/低Pはもう事実非液状化っていうテーマ4ケースやっていて、
2:09:29	4ページの説明。
2:09:31	多く見たりとかすると、要は液状化が一番大きくて非液状化が小さくてっていうその線形に推移するんだと中間状態っていうのはその間に挟まってもおそらく線形に
2:09:47	推移するっていうことを考えられてるんだと思えますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:53	なぜそう考えられるのかっていう、もう少し技術的な説明をですねしていただければと思うんですけど、その辺り、今どういうふうに分析されていると考えるとかっていうのが出ます。
2:10:23	日本原燃の杉田です。こちらにつきましては、
2:10:27	徐々に今後地盤物性をやるかなってしていくことで、拘束効果はだんだん減っていくということを想定して連続的に変化するというようなエースあのIAEA実施をしようと考えています。以上です。
2:10:52	規制庁カミデです。
2:10:56	若干詳しくにと若干だけ詳しくなるときはするんですけど、
2:11:03	今日はどういう構成っていうものが宝刀というものに対してどういう関係にあるみたいなところをもう少し丁寧に説明してもらえれば、説明はできるのかなと思いますけど、
2:11:18	その辺りですね、もう少しロジックというか、協議展開してこの4ケースで見ておけば4ケース。
2:11:29	こういう結果ならいいかというところがわかるようにですね、資料のほうにいただければと思いますので、その違いです。
2:11:44	日本原燃サトウです承知いたしました。
2:11:50	規制庁カミデです。すいません5ページの
2:11:54	実は私のほうからです。
2:12:05	規制庁のキシノです。ちょっと記載の話がありますけれども、多分また資料の流れとか、再構成されるかと思しますので、
2:12:15	キャンセルされてしまうんだったらそれでもいいんですが、
2:12:18	ちょっと4ページの記載でですね幾つかちょっと意味がよくわからないところがありますので、確認等し適正化お願いしたいんですけど。
2:12:27	1行目の地盤の剛性変化に伴う拘束効果によりております。
2:12:33	これは地盤の剛性変化に伴う拘束効果の変化によるとか、何かそういった言葉が抜けてるような気がするんですけど、そういう理解でよろしいですか。
2:12:48	日本原電サトウです。すいません、ご指摘の通りです。IPCCいたしました。
2:12:54	はい。
2:12:55	あと、その同じ業務を実施しようとはということですけど、地震応答が何を指しているんでしょう。
2:13:03	下のほうに表があって、1行目に片括弧AとかAから片括弧でヤマダば応答値があると思いますけど、これらすべてをさせるのか、全部がこのようになるかわからないけど、大体においてこのようになるっていうようなそういうニュアンスで書かれています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:23	そもそも何を指すのかわからないんですけどそのあたりいかがでしょうか。
2:13:41	日本原燃佐藤です。はい。この地震応答はまさしく
2:13:46	なんですかね。野田波の特徴を言ってるような
2:13:53	フローがありますので、
2:13:57	スペクトルの絵をイメージした言葉になっております。
2:14:03	意味では、
2:14:05	規制庁のキシノです。下の表が最大とか最小とかってのイメージとして書かれてる対応しているとすれば、下の表の方がこれから片括弧で2aと対応してるというふうに素直に読んでいいのかなと思ったんですけど違うんでしょうか。
2:14:25	予見サトウです。そういう意味でははい、
2:14:28	方々、こういう仮定までちょっと言葉が変わってしまうと出ますんでそこは添えるようにいたします。
2:14:38	わかりました規制庁野口です。
2:14:40	あと1点なんですけど、挙動の予測とあるところの右側に赤文字で液状化を緩めるとか剛性を下げるところです。
2:14:50	これ、この辺りもちよっとした適正化されるのかもしれないんですけども、
2:14:55	何を意味するのかっていうのはこれまでいろいろやりとりをさせていただいており我々のイメージはできていますけども、会合資料としてですね、液状こう緩めるっていうのは、おそらく周辺の埋戻どうもその液状化の程度を緩めるとか剛性を下げるっていうのは
2:15:11	今年の剛性地盤物性としての合成を下げるのか、或いはこの解析モデル全体としての部剛性を下げるのか、ちょっと少し判別しないところもありますけれども、一応会合資料だとそう踏まえてですね、適切な言葉を超えるなでして、ちょっと性正確な
2:15:29	表現に改めていただきたいと思うんですが、この辺りいかがでしょうか。
2:15:36	日本語でやると思います。はい。おっしゃる通り言葉足らずというところがございますのでそのとしては、その資料を見ただけで理解できるような形で丁寧な記載。
2:15:48	にしたいと思います。以上です。
2:15:51	規制庁の木嶋です。はい、お願いします。
2:15:55	ちょっと2ページにもなっちゃうんですけども、表現の適正化という意味ではですね、2ページの真ん中ほどに②番の文書があって、
2:16:06	最大の地震荷重を与える液状化を設定している。
2:16:10	で書いてあるんですけど、これもちょっと意味不明の文書だなと思ってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:14	おそらく1行目に丸い②か2行目に、上のほうは②最大の地震荷重を与える液状化状態という言葉があるのでそれを
2:16:22	多分、使ってこんな表現だったのかなと思うんですけども、
2:16:27	先ほどっていうか冒頭にツガネの方からですね、今回のその全体の説明の流れとか講師を見直していくというやりとりの中で、改良地盤の拘束効果の計画と地盤剛性でしたかね。
2:16:45	大きく二つあるんだというお話が出てくると思いますので、おそらくそれに合わせて、こちらの表現のほうの適正化をしていただければと思います。
2:16:54	先週ちょっと私がマルに最大の地震荷重を与える液状化状態という表現を例示しましたが、それにこだわらず、先ほどの資料全体の見直しに伴って整合のとれた表現のほうに見直していただいたほうがちょっと誤解が、
2:17:09	やっぱりと思いますので、ご検討の方をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
2:17:16	日本カミタイラ様です。はい、発行者拠点理解いたしました。前段でしっかり整理したものを踏まえた上で、後段のページで説明している内容、こちらについても整合する形で
2:17:29	問答適切な形で見直したいと思います。
2:17:33	以上です。
2:17:36	規制庁のキシノです。はい、よろしく申し上げます。私からは以上です。
2:17:59	。
2:18:01	はい。
2:18:03	規制庁の時のリスク。
2:18:07	どうしても確認させていただきたいんですけど、7ページ目、お願いいたします。
2:18:15	どうもここの説明は設計モデルの科学的合理性のある設定の考え方ということなんですけれど。
2:18:25	この表の上の文章がですね設計モデルの保守性を確保するために以下の設定をするというふうな記載があって、それぞれの項目と合理性の説明っていうのがあるんですけど、例えば名詳細だモデル幅だとか、
2:18:40	こういったものの合理性の説明っていうのは、多分理論的に文献とかを参照して適切
2:18:48	判断されるような設定としてと思うんですけども、これを修正に関係あるんでしょうか。
2:18:54	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:55	日本原燃皆様です。7ページにつきましては前回加藤モデルの保守性と被災者のタイトルに記載している核的合理性を欠く不適格にするためというところがございますので、こちらのほうで表の上の文章については適切な文章に修正させていただきます。
2:19:15	規制庁の武田です。わかりました。
2:19:18	／それでこの科学的合理性を説明するにあたっては、今申し上げた、例えばメッシュサイズはモデル幅、こういうのは理論的に正しいとされるような、例えば弱だとか、そういったものを参照にして、
2:19:32	適切な目安となるような値を設定している。それはそういう理解でよろしいですか。
2:19:40	ほかにあります。はい、そのような理解で結構でございます。
2:19:45	はい、規制庁の武田です。
2:19:47	わかりました。それでは例えばそれとは別のですね、例えばモデル高さですとか、ニチバン社のモデル損保こういうのは、例えば理論的に説明するのっていうのは難しいのかなと思うんですけど。
2:20:03	こういったものたちっていうのはどういうふうに効率性の説明をするのでしょうか。
2:20:23	日本原燃佐藤です。まずモデルの高さでございますが、これ
2:20:29	基準地震動が定義されている位置をから立ち上げるということで、Kakehi合理性っていうよりは、すかね。もともと地震動が定義されている位置、
2:20:45	からモデルを作っていますという、そういう提出なモデル化をしていますという説明になります。
2:20:52	たっと思ってる寸法につきましては、
2:20:59	解析モデル全体の大きさの
2:21:03	兼ね合い、そういったところから、
2:21:08	こういったことがこういった設定でも影響が小さく出るというような
2:21:16	これはある意味でしょ。
2:21:22	今までのその解析の
2:21:26	儀礼多い広くやってきた経験的なところから出されているような、そういう設定。
2:21:33	になっているというふうに考えております。
2:21:36	そうです。
2:21:43	はい、規制庁の武田です。現状というふうに考えられているかということとはわかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:52	資料また見直されるとは思うんですけど、科学的校へ説明する上で判断した基準ですねその文献に準じて理論的に正しいものであるのかなとか、今説明があったような経験値とか、関係、
2:22:07	面的な考えのもと設定をしているかですとか、そういったものをもうちょっと明確になるようにした上で、
2:22:16	説明をもうちょっと詳しく教えていただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
2:22:25	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
2:22:29	来加えられるものを書き加えるようにいたします。
2:22:35	規制庁タケダです。お願いします。
2:22:39	私からは以上です。
2:22:54	次のタケダです。
2:22:58	とくの設計資料につきまして、／規制庁側から確認等ございますでしょうか。
2:23:08	規制庁ハバサキです。そしたらちょっと細かい話なんで。
2:23:12	ここもそれがどうかちょっと硫酸の判断になると思うんですけど、ちょっとコメントだけ、6 ページで設計モデルの保守性を確保するための要件という事で項目がABCたんですけども。
2:23:26	例えば埋設構造物をなくすというのも、
2:23:31	ある意味そうだと思います。それともう一つ詳細モデルでは、ごめんなさい、検証モデルでは考慮しているけど、諸設計モデルで考慮してない要件として杭の根入れ例をするしないっていう話も、
2:23:48	ある意味保守性なのかなというふうに考えますが、
2:23:53	何か、それから外してる理由っていうのはあるんでしょうか。
2:24:12	日本原燃イナヅマです。
2:24:14	はい、6 ページの鉄塔模式技術の方で遠くの命令ばっとしていないようなモデルになっているように見えますけれども、実際のモデルによってはKURION命令を考慮した形で、あまり
2:24:29	定義した形で頭現象は検証モデルのほうへモデル化してございますので、模式図であっても、ちょっとその辺りは適切に表現する協議したいと思います。以上です。規制庁ハバサキです。ちょっとあの趣旨が違ってて、今 6 ページは設計モデルで保守性を確保するためのよ。
2:24:47	項目で設計モデルでは岩盤への杭の命令を考慮してないのでというふうに思いますので、それも保守性を考慮する、1 かなというふうに考えたんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:08	体制が赤い一体大成建設タカハシです。今のハバサキさんのご意見なんですけども、す。
2:25:17	あの通り命令の効果というふうなのは、剛性を低減することに寄与しておりますので、当然保守性に5影響する、そういうふうには考えております。ただ、今この全員の項目のところを杭をモデル化しないということに
2:25:36	命令を含めて、杭は実際モデル化しないというふうに表現しておりますので、この中にも今のハバサキ、ハバサキ田のご意見も入っている、そういうふうに考えております。以上です。
2:25:51	規制庁浜崎です。理解しました
2:25:55	ちょっとそれも含めてですね、ちょっと細かい内容ですけども、記載のほうしておいてもらえればというふうに、よりわかりやすくなるかなというふうに思います。
2:26:05	もう一つの埋設構造物をなくすというのはいかがですか。
2:26:17	大成建設タカハシです。ええと埋設構造物の影響というのは、前のページに記載しておりますので、このページでは、1行目に書いてあるように、その他のというふうなことで、埋設構造物以外のところ、
2:26:35	対象として期待しております。以上です。はい、既設はです。主旨理解しました。
2:26:43	もう1点、7ページ目のほうですね科学的合理性の中で、確かソリューションがないか、非常に薄い層、
2:26:56	設計モデルでは無視するというような何か話があったかと思うんですけども、
2:27:03	それに関してはこれですと非常に薄い層流左岸の総計のあれですか。
2:27:10	研修やモデルでも外しちゃってるんですけど。
2:27:17	大成建設タカハシ検証用モデルの中では、貯留砂岩の約30何cmというふうな水層考慮してございます。今回のこの設計モデルに関してのみ、その層は外しております。
2:27:33	以上です。
2:27:35	規制庁ハバサキです。そうすると。
2:27:38	7ページの科学的合理性のあるところで、
2:27:45	30cmといえどもこういう理由でそういう佐賀に関しては、
2:27:50	設計モデルで外しますっていう理由説明っていうのはできるんでしょうか。
2:27:58	大成建設タカハシです。今ソリューションが2-30数センチをここの中で強引にモデル化しますと、建てよう公費アスペクト比が非常に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:11	不適切なモデル形状になってしまいます。なので、30 数cmという形ではなくて違う形ですね、例えばその硫酸湾の物性値を今の名刺の一つの章に置き換えた形でどれぐらいの影響があるのか。
2:28:28	私どものほうではあまり影響はないそう考えておりますので、その裏付けとなるような何かしらの検討を追加しようと考えております。
2:28:40	以上ですはい規制庁浜崎です。鷹の物性値に置き換えることで検証された中されるのかということで理解しましたので、項目としては7ページにも上げといってもらって構わないかと思うんですがいかがですか。
2:28:58	モデルに大成建設タカハシです。この一番下にモデル通行の中ですね、今、2メートル以下メッセージ以下のモデル形状は反映しない、そのように記載してございます。
2:29:13	なので、一応今の内容に関しては、この資料の中に盛り込むされているのかな、そう考えております。以上です。
2:29:23	規制庁ハバサキですわかりました、モデル寸法のところに今のそれ佐賀の扱いが含まれているということなんですが、それで口頭の説明を聞きは7ページでいいんですけど
2:29:40	補足説明とかはそこはもう少し詳しく説明はしてもらえると可能なんでしょうか。
2:29:48	大成建設タカハシです。承知しました。この補足説明用資料の中に今のその硫酸はに関する追加の検討、こちらのほうの結果というか、内容について記載するようにいたします。
2:30:05	以上ですはい規制庁浜崎です
2:30:09	項目っていいですか内容としては細かな話なんですけれども、やはり設計をモデルと
2:30:17	検証のモデルの差分という意味ではあるわけですので、それに対しての見解、結果といいますかですね、考察も含めた形の資料というのは、準備のほうをお願いしたいと思います。私からは以上になります。
2:30:46	規制庁タケダですねその他、規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:30:57	よろしいでしょうか。
2:31:02	その
2:31:03	1点は、この資料を
2:31:06	踏まえまして、
2:31:10	審査会合資料の方に求められていくのかなとは思いますが。
2:31:16	どうすべきは審査、これ以降資料管理についての説明に移りたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:26	ちょっと時間も含めてですけど、やっぱりほうの資料のイメージはもう最初のほうで大分聞いたので、特にないかと思います。そうですか。
2:31:39	日本原燃の方からもちょっと説明を加えたいなどそういうのはありますでしょうか。
2:31:51	今回のイナヅマです。はい。介護資料につきましては途中段階での議論ありましたように、やはり前段の部分。
2:32:00	そもそも波及的影響の目的というところの前段のあの…
2:32:06	部分ですね、その方が足りないというところは国の資料でも押してきて今度同じだと思ってございましてそちらの方、ページへ記載した上で、各構成部材の設計の考え方について説明するといったところ、
2:32:21	結構やっぱ
2:32:23	町で押せ再構成したいと考えてございます。
2:32:27	説明で補足的な説明は以上でございます。
2:32:34	規制庁の武田です。それでは資料のほうを展開をお願いいたします。
2:32:41	それでは全体を通じまして規制庁側から何か連絡や確認等ございますでしょうか。
2:32:51	一つ目ですけれども、審査会合に向けて、今後どのように進めていく予定か説明していただけますか。
2:33:09	日本原燃イナヅマです。はい。また本日いただきましたコメントを踏まえまして、中古日に審査会も目標の資料をして、あとさせていただきたいと思ってございます。
2:33:29	それを踏まえまして、露頭としては金曜日にヒアリングさせていただければということで考えてございます。それは細かい待たない来週はじめにですね月曜日に、
2:33:40	そのヒアリングを踏まえたコメントを
2:33:44	対応した
2:33:47	ですからもしわかりましたということを考えてございます。
2:33:50	以上です。
2:33:55	規制庁、津金です。20日に資料が出されたものに対してのヒアリングは21に行うと。
2:34:03	ということでよろしいですか。
2:34:07	はい。規模で申し訳ございませんが、そのように対応。
2:34:11	教えてあげると。
2:34:12	大変助かっていかな23日に向けての対応ができるかと思ってございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:21	規制庁津金です。こちらも改造等の詰まりますので、また調整して、事務局通じて連絡したいと思います。以上です。
2:34:32	そう。
2:34:37	うん。
2:34:38	引き継ぎ事項っていう
2:34:40	規制庁側から連絡等ございますでしょうか。
2:34:46	規制庁、上出です。
2:34:49	今の
2:34:51	マックスの資料がヒアリングについては
2:34:54	17日のヒアリングでどれぐらい
2:34:59	タジリないところがあるかみたいと思いますし、次第かなと思いますので、17日から改めて確認できればと思っていますけど。
2:35:12	補足説明資料の話を少しさせていただきたくて、金曜日に出て来系、ヒアリングで中身を扱うのは17日になると思うんですけど。
2:35:26	少し
2:35:28	今耐震建物23、資料三つと、まだこれから用意しますとか、これから作成します。数字変わりますみたいなのが各所にあるんですけど。
2:35:43	特に最終的な結果を最後だろうと思ってはいるんですけど、今回の下位法令説明する範囲に関係する部分の補足説明っていうので、まだすべて決定できていないという理解をしているんですが、その他
2:36:02	いつごろにこの情報はブラッシュアップされるのかっていうのを教えていただきます。
2:36:12	日本原燃やってます。現在まだ入っていない部分につきましては、資料としては、20日に提出するというので今考え中の
2:36:22	考えているということでございます。以上です。
2:36:29	規制庁上出です。
2:36:37	何だろう。
2:36:41	はい17日で17にして細かい号に関係する部分が今どれだけ書いてないかっていうのもちゃんと読めてないんですけどその辺でという状況ですかね、今の資料税。
2:36:56	会合に向けた資料の補足説明っていうのはあるビジネスがもうそろってるんですけどそちらはそういう理解ですか。
2:37:16	はい。日本原燃ハラダですねと23番の補足説明資料のほうなんですけれども、基本的なの、別紙1-1っていうところに、今回の安全冷却塔の飛来物防護ネット

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:30	耐震性評価というのをまとめて記載する予定であります。
2:37:36	その中で 1023 ページ目に目次がございますが、大きく 1 ポツ 2 ポツ 3 ポツってあって、一つは記載はあるんですが、2 ポツ目 3 ポツ目が他に今回の会合のところで述べるような内容というのが、
2:37:54	記載されると想定しています。ここはですね介護資料をブラッシュアップしながら、
2:38:04	詰めていく内容になると、そしてさらに細かいレベルがさらに別添という形でついていくんですけども、こちらですね鋭意解析しなければ内とところとか、
2:38:20	あってですね権力についてないんですけども、特に別添 3 とか別添ながら 8 辺りですね。
2:38:27	こちらが現在作成中になっているという状況にありますムラノ初川の段階でどこまでっていう話ですけども、基本的に考え方であったり 1 文書であったりはすべて形、こんな形ですよと。
2:38:44	いうのを目標に作業を進めます。数値もう一つ、数値の入れ込みのところなんですけど、
2:38:52	ちょっとできた範囲になっちゃうんですけども、液体っていうの中三ばちゅう代表になって進めているようなところは、それだけでその部分だけになっちゃうんですけども、一部の数字の入れ込みたいという形になるかなと。
2:39:11	そんなふうに考えてます。それが 20 日の段階に出す資料になるというふうに考えてます。以上です。
2:39:20	規制庁コンビニですと赤でいいのかっていうところ判断したくて今どこまで書けてるです会合との関係でいうと、ここまで
2:39:33	一通り説明できてるんですけどっていう話が聞けるのかなと、短ですけど、ちょっと回答のほうはこうなるのかと。
2:39:42	例えば本耐震建物 23 の今照会中 3 ページですけど。
2:39:49	例えばNIPPO、
2:39:52	その 2 のところは地盤改良の目的は何しようっていうことで、ここが枠で囲ってあって、審査会合レベルと
2:40:01	当レベルという話ですというと、
2:40:05	これは実態としては、
2:40:08	また、ちゃんと読んでないですけど、別添 1 とこにはある程度そういう話が出ていて、本文としてまとめるのが、ただ終わっていないというだけなのか、そもそもまだ情報を交番出ていないんだけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:25	でも介護資料にはここまで書いてますっていう話なのかとそもそも用意できてないんですっていう話をちょっとその辺がよくわからなかったんですけど、その辺もう少し長期的説明いただけますか。
2:40:43	はい、日本原燃原です。えっとですね、状況としてはまだきちんと整理されたものが用意できてないということです。えと構成的には別添が詳細でそれをまとめた本部っていうんですかね、そこが
2:41:01	一点鎖線で囲んだ部分になるんですけども、そうですね。別添が完璧にできてるかと言われるとそうでもないの、やはり今また作り込んでいる最中だというステータスでございます。以上です。
2:41:21	規制庁カミデです。
2:41:24	配合飼料にも反映してなくて別添にも反映してません。
2:41:31	今の補足説明資料にも入っても 1009
2:41:36	要はどのような項目が今終わってますか。
2:41:44	はい、日本件目です。
2:41:47	とたっばいば今日ありました。
2:41:51	ちょっとあれですね、懇減ってくるのであればここ補足説明資料に、
2:41:57	うん。まあそういったところを入れながらブラッシュアップの作業が必要なんですけれども、
2:42:04	守ってまだその辺でですね、足りてないと。
2:42:09	いうところでございます。あと 330 センチ、
2:42:14	2メートル以下のモデル化してない部分はどこだといった細かいところの説明とかその辺が書き足りていませんので、
2:42:24	そういったのを、入れ込みながら作り込んでいく作業があるというふうに認識してます。以上です。
2:42:32	当期ステップ部。
2:42:34	日本原燃佐藤でちょっと補足しますと、先ほどちょっとハバサキさんからご質問下げたりしたんですが、
2:42:41	鉛直の保守性についてですね、我々
2:42:45	水平力のほうが主義的だっていうことでちょっと
2:42:49	そちらに注力したものでそこら辺の整理のほうはまだ会合にも規則にも、
2:42:57	ちょっと入ってないような状態ですのでそこはやっぱ改めて、
2:43:01	御説明するいたします。以上です。
2:43:06	規制庁カミデですちょっとこれから、資料要件高温でいく上でちょっと尾根がいいではあるんですけど、耐震建物の 23 でいえば、13 ページのところ、
2:43:23	これはいいのかもしれないんですけど、ちょっと今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:26	今後、そのは皆さん言う 20 日なるほど使う。
2:43:31	にどういう情報がどこに入ってくるのか。
2:43:36	ていうところぐらいは整理いただいて、できれば会合資料の提出とあわせてお 23 の会計っていうことで、もう少しステータスを明確にしたものを提示いただければ。
2:43:53	その時に住まそれがあれば、ある程度 17 日に出す。
2:44:00	何が足りてないのかというところは、そもそも考えていないのか作業間に合っていないのかってところが、認識が合った状態での仕事でいくのかなと思うんですけど、その辺りは作業できそうですか。
2:44:17	はい、日本系でハラダです。そうですね中断 7 日 2 の段階のステータスをこれを整備してお示したいと思います。それから運休注 3 ページに書き込む形かにすればいいかっていうのはちょっと検討いたします。
2:44:38	はい規制庁神戸です。どこに確保ありですけど中三に駆け込んだか、1 杯書き出すかをとにかくやっぱあのあのやり方をですねちょっと会議資料とあわせて、そういう状態でお出しただければ助かりますっていう執行お願いします。
2:44:56	はい、日本原燃の原です。承知いたしました。
2:45:19	その他規制庁側から確認という等ございますでしょうか。
2:45:30	日本原燃の方から何かございますでしょうか。
2:45:38	協会のイナヅマですと当方から特にございません。
2:45:43	規制庁タケダです。
2:45:45	それでは本日のヒアリングは以上で終了といたします。お疲れ様でした。
2:45:52	紛争というでした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。